





備考

- 一 初行ノ現在高ハ此帳簿作製當時ニ於ケル現金ノ現在高ヲ記入スヘシ
  - 一 米穀ハ別ニ口座ヲ設ケ此ノ例ニ依リ整理スヘシ
  - 一 學校基本財産、學校積立金及區有財産ニ關スル分ハ本簿ニ做ヒ各別ニ整理スヘシ
- 第二十二號様式

賦課令狀

甲 第	號	住 所	何 某
明治何年度町村税何々(税目)		何期分(全年度分)(何月分)	
一金何程			
右何年月日限當町村收入役ニ納ムヘシ			
年 月 日			
町 村 長 氏 名 印			
收入役印			

備考

- 一 同一人ニ對シ同一ノ納期ニ數種ノ税ヲ徵收スル場合ニ於テハ便宜之ヲ列記スルモ妨ナシ此ノ場合ニ於テハ町村税ノ下税目ノ一欄ヲ削リ各金額ノ下ニ其ノ税目ヲ記載スヘシ
- 第二十三號様式

領收證

乙 第	號	住 所	何 某
明治何年度町村税何々(税目)		何期分(全年度分)(何月分)	
一金何程			
右領收ス			
年 月 日			
町 村 收 入 役 氏 名 印			

備考

一 本書用紙ハ成ルヘク厚質ノモノヲ用ウヘシ

一 夫役及現品ヲ受領シタルキハ町村長ニ於テ領收證ヲ發シ夫役ノ代納金ヲ受領シタルハハ收入役ニ於テ之ヲ發スヘシ但シ全一人ニ對シ夫役二人以上ヲ徵收スル場合ニ於テハ其ノ受領ノ日毎ニ甲號受領印ノ欄ニ主任者捺印シ全部ノ受領ヲ終リタル後乙號ノ領收證ヲ交付スヘシ

一 現品ニ付テハ受領印ノ欄ヲ設クルコトヲ要セス

第二十四號様式

納額告知書	甲第 號	住所 何 某
一金何程 但シ何々	明治何年度何々(款)	何々(項)何々(目)
右何年月日限當町村收入役ニ納ムヘシ		
年月日		町村長氏 名印

町村長(收入役)氏 名印

年月日

夫役(現品)賦課令狀

一 夫役何人(又ハ何品若干)  
(此ノ換算金何程)

右何年月日時何所へ出役スヘシ(但シ金圓代納者ハ何年月日限當町村收入役ニ納ムヘシ)(何時期間ニ何所何職何某ニ差出スヘシ)

年月日

町村長氏 名印

受領印	町村長 (收入役)印	住所 何 某
乙第 號	明治何年度夫役(現品)	何工事又ハ何々ニ對スル分
一夫役何人(又ハ何品若干) (此ノ換算金何程)		
右領收ス		

授業料納額

第二十五號様式

収入役印	住所何	乙第 號
明治何年度何々(款)	何々(項)何々(目)	某
一金何程	但シ何々	
右領收ス		
年月日	町村収入役氏	名 宛

第 納 住 所	第 納 住 所
人 何	某 生徒姓名
	何 某

一金何程 一箇月分  
右明治何年度何學校生徒授業料前掲ノ金員毎月(何月)何日限當町村収入役ニ納ムヘシ

告知書

年 月 日

町村長氏

名 宛

由事 何月分ヨリ何々ニヨリ月額何程トス(何月分ヨリ毎月何日限納付スヘシ)

領月 分	領月 分	領月 分	領月 分	領月 分	領月 分
四月分	五月分	六月分	七月分	八月分	九月分
十月分	十一月分	十二月分	一月分	二月分	三月分

備考

- 一 本書領收證ニハ收入役ニ於テ現金領收ノ都度收入役領收印ノ欄ニ捺印ノ上納人ニ返付スヘシ
- 一 授業料額、徴收期等年度ノ半ニ於テ變更アルトキハ其ノ事由ヲ事由欄ニ記入シ町村長捺印スヘシ
- 一 本書用紙ハ成ルヘシ厚質ノモノヲ用ウヘシ
- 一 本書ハ便宜袋ト爲スモ妨ケナシ

第二十六號様式

第 號	住 所	何 某
何年度町村税又ハ何々(款)	地價割何期分又ハ何々(目)	

督		第二十八號樣式	
第 號	住 所	何 某	
何 年 度	何 々 ( 款 )	何 々 ( 項 )	何 々 ( 目 )
一 金	何 々 ( 款 )	何 々 ( 項 )	何 々 ( 目 )
滯 納 金	何 期 ( 全 年 度 分 )	何 月 分	

領 收 證	町 村 長 氏 名 印
一 金 何 程	但シ何年月日支出何々ノ内過渡又ハ何々
右 領 收 ス	町 村 收 入 役 氏 名 印
年 月 日	

還 付 通 知 書		第二十七號樣式	
甲 第 號	住 所	何 某	
何 年 度	何 々 ( 項 )	何 々 ( 目 )	
一 金 何 程	何 々 ( 項 )	何 々 ( 目 )	
月 日 戻 入 濟	但シ何年月日支出何々ノ内過渡又ハ何々		
年 月 日	右何年月日限當町村收入役ニ戻入スヘシ		

還 一 金 何 程	町 村 長 氏 名 印
右 過 ( 誤 ) 納 ニ 付 何 年 月 日 限 此 ノ 通 知 書 持 參 調 印 ノ 上 當 町 村	前 書 ノ 金 員 領 收 候 也
收 入 役 ヨ リ 現 金 ヲ 受 取 ル ヘ シ	年 月 日
年 月 日	何 某 印

狀	促	一金	手
年月日	納セサルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ	金	數
町村長	氏名	督促手數料	料
氏名	印	増手數料	

一七二

○訓令第八號(三十七年二月八日)  
町村巡視規程左ノ通定ム

郡役所 町村役場

町村巡視規程

第一條 町村ノ行政事務ハ本規程ニ依リ之ヲ巡視ス  
 第二條 町村ノ巡視ハ分テ定期及臨時ノ二トス  
 定期巡視ハ毎年一回郡長之ヲ行フ  
 臨時巡視ハ知事、郡長又ハ其ノ指命シタル官吏臨時之ヲ行フ  
 郡長ニ於テ第二項ノ巡視ヲ行フコト能ハサルトハ部下ノ官吏ヲシテ代テ其ノ巡視ヲ行ハシムヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ豫メ知事ノ承認ヲ受クヘシ  
 第三條 巡視ニ於テ調査スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

- 一 町村全体狀況
  - 二 町村條例、町村規則及其ノ施行ノ狀況
  - 三 町村會ノ組織、會議ノ狀況及議決ノ當否
  - 四 町村吏員ノ組織、事務ノ分課及處務ノ狀況
  - 五 町村事業ノ計畫、施設及其ノ成績
  - 六 財政ノ狀況
  - 七 其ノ他監督上必要ナル事項
- 前項ニ掲クル調査事項ノ細目ハ別ニ之ヲ定ム  
 第四條 前條ニ記載スル各個ノ事項ヲ調査スルニ付テハ主トシテ左ノ二點ニ於テ精細ナル觀察ヲ遂クヘシ

一 町村行政ノ法律命令ニ抵觸セサルヤ否及其ノ事務錯乱滯滞セサルヤ否  
 二 町村行政ノ自治ノ本旨ニ適合セルヤ否及公益ニ關スル事業ノ計畫施設其ノ宜シキヲ得ルヤ否

第五條 町村行政ニシテ法律命令ニ違ヒ若ハ自治ノ本旨ニ適セス又ハ其ノ事務錯乱滯滞シ若ハ公益ニ關スル事業ノ計畫施設其ノ宜シキヲ得サルモノアリト認ムルハ其ノ由來及原因ヲ審カニシ且之ヲ矯正並改善ノ方法ヲ稽查スヘシ

第六條 町村行政ニシテ自治ノ本旨ニ適ヒ其ノ事務能ク整理シ公益ニ關スル事業ノ計畫施設其ノ宜シキヲ得其ノ成績見ルヘキモノアリト認ムルハ其ノ沿革及關係吏員ノ勞效ノ存スル所ヲ審カニシ且之ヲ獎勵並助長ノ方法ヲ稽查スヘシ

第七條 巡視官吏ハ其ノ調査スル事項ニ付町村長又ハ收入役ニ對シ事由ヲ推問シ又ハ辨明書ヲ徴スルコトヲ得

第八條 巡視官吏ハ知事又ハ郡長ノ命ニ依ラスシテ直ニ指揮スルコトヲ得ス但シ法律命令其ノ他町村ノ規程ニ違ヒ又ハ錯誤アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ事輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキハハ町村長又ハ收入役ニ對シ注意ヲ與フルコトヲ得

事件重大ニシテ差措キ難キモノアリト認ムルトキハ即時所屬長官ニ報告スヘシ

第九條 巡視官吏ハ其ノ巡視シタル事項ヲ他ニ漏洩スルコトヲ得ス

第十條 巡視官吏町村ノ巡視ヲ終リタルトキハ一町村毎ニ其ノ顛末ヲ記載シ歸廳後三日以内ニ所屬長官ニ復命スヘシ

五日以上ニ涉リ數箇町村ノ巡視ヲ行フトキハ最初ノ巡視ヲ終リタル日ヨリ五日毎ニ其ノ前日マテノ分ヲ取纏メ復命スヘシ

第十一條 郡長自ラ巡視シタルトキ又ハ前條ノ復命ヲ受ケタルハ其ノ處分ヲ要スルモノニ就テハ直ニ之ヲ處分シ其ノ巡視及處分ノ要領並意見アルトキハ其ノ意見ヲ知事ニ報告スヘシ

附 則

第十二條 本訓令明治三十七年二月二十日ヨリ施行ス

第十三條 本規程ハ水利組合ノ事務ニ關シ之ヲ準用ス



○訓令第九號(三十七年三月八日)  
町村會計檢閱例規左ノ通定ム

郡役所 町村役場

町村會計檢閱例規

第一條 町村ノ會計ハ本例規ニ依リ之ヲ檢閱ス

第二條 檢閱ノ時期ハ分テ定期及臨時ノ二トス

定期檢閱ハ毎年四月ヨリ七月マテノ間ニ於テ郡長又ハ其ノ指命シタル官吏之ヲ行フ

臨時檢閱ハ知事、郡長又ハ其ノ指命シタル官吏臨時之ヲ行フ

天災事變其ノ他避クヘカラサル事故ノ爲第二項ノ期間内ニ於テ定期檢閱ヲ行フコト能ハサルハ郡長ハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ報告スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ事故已ミタル時ヨリ三十日以内ニ之ヲ行フヘシ

第三條 町村長又ハ收入役退職又ハ死亡シタルハ其ノ退職又ハ死亡ノ日ヨリ三十日以内ニ

郡長又ハ其ノ指命シタル官吏ニ於テ臨時檢閱ヲ行フヘシ但シ定期檢閱又ハ臨時檢閱ヲ行ヒタル時ヨリ六ヶ月ヲ經過セサルトキハ場合ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

前項本文ノ場合ニ關シテハ第二條第四項ノ規定ヲ準用ス

第四條 檢閱ノ目的ハ分テ會計審査及行政審査ノ二トス

會計審査ハ收入役ニ對シテ之ヲ行ヒ行政審査ハ町村長ニ對シテ之ヲ行フ

第五條 檢閱ニ於テ審査スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

第一 會計審査

一 計算ノ當否

二 計算ト收支命令トノ適否

- 三 計算ト證據トノ適否
- 四 計算ト現金在高トノ適否
- 第二 行政審査
  - 一 豫算ノ當否
  - 二 町村稅其ノ他諸收入ノ賦課、徵收及滯納處分ノ當否
  - 三 收支命令ノ當否
  - 四 財産ノ管理及處分當否
  - 五 證書類保管ノ當否
  - 六 會計監視ノ當否
  - 七 其ノ他會計上必要ナル事項
- 前項ニ掲クル審査事項ノ細目ハ別ニ之ヲ定ム
- 第六條 檢閲ヲ行フルハ町村長及收入役之ニ立會スルコトヲ要ス
- 第七條 檢閲官吏檢閲ヲ行ハントスルルハ遅クモ前日マテニ當該町村長及收入役ニ對シ其ノ日時ヲ通告スヘシ但シ特別ノ事由アルルハ此ノ限ニ在ラス
- 町村長及收入役前項指定ノ日時ニ町村役場ニ出勤スルコト能ハサルルハ左ノ規定ニ依ルヘシ
  - 一 指定ノ日時ニ於テ必ス處理スヘキ公務又ハ病氣ノ爲出勤スルコト能ハサルルハ其ノ日時マテニ檢閱官吏ニ其ノ事由ヲ證明シ届出ヘシ但シ病氣ノ場合ニ於テハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルコトヲ要ス
  - 一 忌引ノ爲出勤スルコト能ハサルルハ其ノ日時マテニ檢閱官吏ニ其ノ事由ヲ届出ヘシ

- 前項ニ規定スル場合ノ外町村長又ハ收入役ハ指定ノ日時ニ欠勤スルコトヲ得ス但シ特ニ檢閱官吏ノ承認ヲ得タルルハ此ノ限ニ在ラス
- 第八條 檢閱官吏ハ其ノ檢閱スル事項ニ付町村長又ハ收入役ニ對シ事由ヲ推問シ又ハ辨明書ヲ徴スルコトヲ得
- 第九條 檢閱官吏ハ知事又ハ郡長ノ命ニ依ラシテ直ニ指揮スルコトヲ得ス但シ法律命令其ノ他町村ノ規定ニ違ヒ又ハ錯誤アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ事輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキルハ町村長又ハ收入役ニ對シ注意ヲ與フルコトヲ得
- 事件重大ニシテ差錯キ難キモノアリト認ムルルハ即時所屬長官ニ報告スヘシ
- 第十條 檢閱官吏ハ其ノ檢閱シタル事項ヲ他ニ漏洩スルコトヲ得ス
- 第十一條 檢閱官吏檢閲ヲ終リタルルハ帳簿其ノ他主要ナル關係書類ノ餘白ニ年月日及檢閱済ノ旨ヲ記載シ署名印スヘシ
- 第十二條 檢閱官吏町村ノ檢閲ヲ終リタルルハ一町村毎ニ其ノ顛末ヲ記載シ歸廳後三日以内ニ所屬長官ニ復命スヘシ
- 五日以上ニ涉リ數個町村ノ檢閲ヲ行フルハ最初ノ檢閲ヲ終リタル日ヨリ五日毎ニ其ノ前日マテノ分ヲ取纏メ復命スヘシ
- 第十三條 郡長自ラ檢閲ヲ行ヒタルルハ又ハ前條ノ復命ヲ受ケタルルハ其ノ處分ヲ要スルモノニ付テハ直ニ之ヲ處分シ其ノ檢閱及處分ノ要領並意見アルルハ其ノ意見ヲ知事ニ報告スヘシ
- 第十四條 町村長又ハ收入役檢閲ニ關スル事項ニ付檢閱官吏ト意見ヲ異ニシ又ハ其ノ處置ヲ不當ナリト認ムルルハ其ノ檢閲ヲ受ケタル後知事又ハ郡長ニ對シ其ノ事由ヲ具申スルコト

ヲ得但シ知事ニ具申スル場合ニ於テハ郡長ヲ經由スヘシ  
第十五條郡長ニ於テ管理スル町村組合ノ會計檢閲ハ知事又ハ知事ノ指命シタル官吏本例規ニ依リ之ヲ行フ

附 則

第十六條 本例規ハ水利組合ノ會計ニ之ヲ準用ス

第十七條 本訓令ハ明治三十七年二月二十日ヨリ施行ス

郡 役 所 町 村 役 場

○訓令第十號(三十七年三月十日)  
町村役場文書例式左ノ通定ム

町村役場文書例式

第一條 法律命令中別段ノ規定アルモノヲ除ク外令達並往復文ハ左ノ例式ニ依ルヘシ

第一 令達文

一 條 例

本町村條例何々ニ關スル件町村會ノ議決ヲ經内務大臣(大藏大臣)(文部大臣)(知事)ノ許可ヲ得テ左ノ通定ム

某町村長氏名

條例第 年 月 日 號

何々條例

何々、々、

一 規則(營造物ニ關スルモノ)

本町村營造物何々ニ關スル件町村會ノ議決ヲ經郡參事會ノ許可ヲ得テ左ノ通定ム

某町村長氏名

年 月 日

規則第 號 何々規則

何々、々、

一 達(町村吏員ニ命令スルモノ)

達第 號

何々、  
年 月 日

某町村長氏名印

一 公告  
公告第 號  
何々、

(豫算公告ノ例)

何々明治何年何月何日何々ノ件許可ス(許可シ難シ)認可ス(認可シ難シ)何々ノ儀ト心得ヘシ  
許可ヲ得テ左ノ通定ム

一 諭告  
年 月 日

某町村長氏名

諭告第 號  
何々、

一 指令  
年 月 日

某町村長氏名

指令一(庶)第 號

職 氏 名  
氏 名

何々何月何日願(伺)何々ノ件許可ス(許可シ難シ)認可ス(認可シ難シ)何々ノ儀ト心得ヘシ  
何々  
年 月 日  
某町村長氏名印

(直ニ願書又ハ伺書ニ指令スルモノハ職氏名又ハ氏名ヲ前掲セス指令文中何年何月何日願伺何々ノ件トアルヲ書面ノ趣ト改メ紙尾ノ餘白ニ朱書スヘシ)

一 正誤

何々何月何日何々第何號何々中何々ヲ脱ス(何々ハ何々ノ誤)何々ハ衍

年 月 日

某町村役場

第二 往復文

一 證明

右(何々ノ通)相違ナキコトヲ證明ス

年 月 日

某町村長氏名印

一 奥書

年 月 日

某町村長氏名印

一 上申、副申、伺、報告、届

一(庶)第 號

何々此段上申(副申)(相伺)(報告)(相届)候也

年 月 日

某町村長氏名印

一通牒、照會、回答、依頼ノ類

一(庶)第 號

何々此段及通牒(照會)(回答)(御依頼)候也

年 月 日

某町村長氏名印(某町村役場印)

宛

(他來ノ文書ニ對シ往復スル場合ニ於テハ其來書ノ日附番號ヲ冒頭ニ記入スヘシ)

第二條 町村會、區會、町村組合會、町村學校組合會及水利組合會議事錄、事務報告書、及財產明細表ハ左ノ例ニ依リ調製スヘシ

議事錄 第一號樣式

事務報告書 第二號樣式

財產明細表 第三號樣式

第三條 吏員名簿、吏員出張命令簿、學校職員名簿、議員名簿、議案件名簿及郵便發送簿ハ左ノ例ニ依リ調製スヘシ

吏員名簿 第四號樣式

吏員出張命令簿 第五號樣式

學校職員名簿 第六號樣式

議員名簿 第七號樣式

議案件名簿 第八號樣式

郵便發送簿 第九號樣式

第四條 町村役場庶務規程準則ノ規定ニ依リ文書件名簿、回議書、令達件名簿若ハ期限表ヲ調製シ又ハ文書ヲ回覽ニ供スルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

文書件名簿 第十號樣式

回議書 第十一號樣式

令達件名簿 第十二號樣式

令達件名簿 第十二號樣式

期限表 第十三號樣式  
文書ノ回覽 第十四號樣式

附則

第五條 本訓令ハ明治三十七年二月二十日ヨリ施行ス

第六條 明治二十五年七月達第三一六號ハ本訓令施行ノ日ヲ以テ廢止ス

第一號樣式

何々會議事錄

明治何年何月何日何々會ヲ開ク其ノ議案左ノ如シ

一 議案第何號 何々明治何年度歲入歲出豫算

二 同第何號 何々町村長選舉(選任)ノ件

三 同第何號 何々明治何年度歲入歲出決算認定ノ件

午前第何時開會議長及出席議員左ノ如シ

議長

町村長

何

某

議員

何番

何

某

何番

何

某

何番

何

某

第一 議案第何號 何々明治何年度歲入歲出豫算

右異議ナク第二議會ヲ開クニ決シ引續キ歲出經常費第二議會ヲ開ク

第何款 何費

第何項何費ノ内何費ニ付何番議員ヨリ何々(理由及目的)ヲ以テ何々金何百圓ヲ何百何拾圓ニ修正スルノ動議ヲ提出シ定規ノ賛成ヲ得テ議題トナリ同意者何名多數ヲ以テ之ニ決ス(議題トナリタルモ同意者何名少數ニ依リ消滅シ原案ニ決ス)

第何項何費ノ内何費ニ付何番議員ヨリ何々(理由及目的)ヲ以テ何費金何程ノ追加議案提出ヲ求ムルノ建議ヲ爲スノ動議ヲ提出シ定規ノ賛成ヲ得テ議題トナリタルモ同意者何名少數ニ依リ消滅ス

右ノ外各項目トモ異議ナク原案ニ決ス

第何款 何費

右異議ナク原案ニ決ス

第何款 豫備費

右ハ後廻ハシト爲シ引續キ歳出臨時費第二議會ヲ開ク

第何款 何費

右何々

次ニ歳入第二議會ヲ開ク

第何款 何々

右何々

次ニ歳出經常費第何款豫備費ノ第二議會ヲ開ク

右何々

次ニ歳入歳出ヲ通シテ第三議會ヲ開ク

右第二議會決ノ通り確定ス  
又ハ何々

第二 議案第何號 何々選舉(選任)ノ件

右投票ノ方法ニ依リ選舉<sup>○</sup>行フ投票總數何票開票ノ結果有効投票何票無効投票何票(内何票ハ何々ニ依リ無効)ニシテ其ノ有効投票ヲ得タル者左ノ如シ

何	點	何
何	點	何
何	點	何
某	點	某

右過半数ヲ得タル何某ヲ當選(選任スルコト)ト定ム(右過半数ヲ得ルモノナキニ依リ多數ヲ得タル何某何某<sup>但シ何某ハ何某ト同點ナルヲ</sup>ニ就キ更ニ投票セシム其ノ結果左ノ如シ)  
(記載例前ノ如シ)

又ハ

右ニ付何番議員ヨリ指名推選ノ法ニ依リ選舉ヲ爲サントスルノ動議ヲ提出シ定規ノ賛成ヲ得テ議題ト爲リ同意者何名多數ヲ以テ之ニ決シ(議長ヨリ指名推選ノ法ニ依リ選舉ヲ行ハント欲スル旨ヲ述ヘ異議ナク之ニ決シ)議長(何番議員)ヨリ何某ヲ指名シ同意者何名多數ヲ以テ之ニ決ス

此ノ時何番議員何某出席ス(退席ス)

第三 議案第何號 何々明治何年度歳入歳出決算認定ノ件

右ニ付テハ議長及其ノ代理者ハ故障アルニ依リ退席シ年長議員何某代テ議長ト爲ル  
何番議員ヨリ委員何名ヲ設ケ之ニ調査ヲ托スルコト及其ノ委員ハ議長ノ指名ト爲サントスル

ノ動議ヲ提出シ定規ノ賛成ヲ得テ議題ト爲リ同意者何名多數ヲ以テ之ニ決シ議長ハ左ノ何名ヲ指名ス

何 某  
何 某

右委員ニ於テ調査ヲ爲ス爲一時休憩ス干時午<sup>前</sup>第何時

午<sup>前</sup>第何時開會委員ノ一報告アリ報告ノ要旨ヲ記ス(滿場異議ナク決算ヲ認定ス

於是議長町村長(助役)何某議長席ニ復ス

午<sup>前</sup>第何時何分散會(閉會)

右朗讀ノ上署名ス

年 月 日

議長町村長(助役)(何番議員)

何

某(自署)

議員

何

某(自署)

議員

何

某(自署)

備考

一 同日ノ會議ニ於テ町村長又ハ助役及年長議員議長トナリタルトキハ共ニ議事録ニ署名スヘシ

一 散會トハ會議ノ繼續中ニ於テ其ノ日ノ會議ヲ閉ツルヲ云ヒ閉會トハ其ノ會議ヲ閉ツルヲ云フ

一 署名スヘキ者自署スル能ハサルトキハ代書ノ上捺印スヘシ

第二號様式

事務報告書

明治何年<sup>自</sup>至<sup>二</sup>月何町村事務報告書

第一 庶務

一 人口、戸數

昨明治何年中ニ於テハ町村分合ノ結果何町村大字何々全部ヲ本町村ニ合併セラレタルヲ以テ一時ニ人口何程戸數何程ノ増加ヲ爲セシモ云々近時何々業發達ノ爲漸次職工ノ需用ヲ増加シ人口何程戸數何程ノ入寄留者ヲ見ルニ至リシモ云々増加ノ原因ヲ記ス(傳染病流行ノ爲何名ノ死亡者ヲ出シ、新ニ海外渡航ヲ企ツル者ヲ生シ、何々嶺山ニ出稼スル者増加シタル等ノ爲人口何程戸數何程ノ減少ヲ見ルニ至レリ(減少ノ原因ヲ記ス)現在ノ人口及戸數左ノ如シ

現住人口 何人 前年ヨリ増(減)何人 何月何日現在

現住戸數 何戸 前年ヨリ増(減)何戸 何月何日現在

二 吏員ノ異動、事務ノ分科及處務ノ狀況

町村長何某ハ何月何日任期滿限ニ付何月何日其ノ後任者ノ選舉ヲ行ヒタルニ何某當選シ何月何日知事ノ認可ヲ得タリ又書記何某何月何日何々ニ依リ辭職シタルヲ以テ何月何日之ヲ解任シ其ノ後任トシテ何月何日何某ヲ書記(何等何級)ニ選任セリ

何年何月訓令第何號ヲ以テ役場規程ヲ改正シ何月何日ヨリ施行セラレタルヲ以テ同日各吏員ニ對シ更ニ左ノ如ク事務ノ分擔ヲ命セリ

第<sup>何</sup>課何係 書記 何 某

第<sup>何</sup>課何係 書記 何 某

收入役ノ事務近時非常ニ繁忙トナリタルヲ以テ何月何日書記何某ノ何係ヲ解キ更ニ第三課

勤務ヲ命シ收入役ノ事務ヲ補助セシムルコトト爲シタリ  
役場事務ノ數量ハ漸ク以テ益々増加シ昨年中ノ取扱件數ハ左ノ通りニシテ之レヲ本年ニ比  
スレハ實ニ何件ノ増加ヲ示セリ

收受	何件	前年ヨリ増(減)何件
發送	何件	前年ヨリ増(減)何件
合計	何件	前年ヨリ増(減)何件

第二學 事

一 學校

何々高等小學校(實業補習學校)設置ノ件ハ何月何日知事ノ許可ヲ得タルヲ以テ何年何月何日競争入札ヲ以テ何某ニ其ノ校舍建築ノ受負ヲ命シ何月何日豫定ノ設計ニ基キ全部落成シタルヲ以テ何月何日開校式ヲ舉ケ何月何日其ノ授業ヲ開始セリ  
各學校ニ於テハ一人モ教員ノ異動ナク各皆誠實其ノ職務ニ從事セリ  
學齡兒童ノ就學並其出席ニ付テハ町村長並學務委員交各戸ニ就キ懇篤督勵ヲ加ヘタルノ結果學齡兒童百人ニ對スル就學兒童ノ數ハ男子何人女子何人ニシテ就學兒童百人ニ對スル一ケ年平均出席人員ハ男子何人女子何人ノ割合ヲ示スニ至レリ男子ノ就學ニ對シテハ最早殆ント其極ニ達セリト雖モ其出席並女子ノ就學並出席ニ付テハ尙大ニ督責ヲ加ヘサルヘカラスト信ス學校ト家庭トノ連絡ヲ通スル爲何月何日父兄ヲ何學校ニ召集セシニ會スル者何名何々ノ事項ニ付校長訓導何某ヨリ協議ヲ爲シ自今何々ノ事項ニ付テハ双方ヨリ互ニ便宜通信ヲ爲スコトト爲セリ

第三 衛生

一 染病

傳染病院ハ何年ヨリ何年ニ至ル繼續事業トシテ其建築ニ着手セシカ昨年何月ヲ以テ全ク竣工スルニ至リ其ノ工費何程ヲ要シ豫算ニ對シテ何程ノ増減ヲ生セリ棟數ハ何棟總建坪何程ニシテ一時ニ患者何人ヲ收容スルヲ得ヘク内部ノ建具及各般器具等ノ設備モ殆ント其ノ完備ヲ告ケ石炭酸其ノ他ノ藥品ニ於テモ價格何程ノ購入ヲ爲シ以テ臨時ノ需用ニ供セリ  
何月大字何々ニ赤痢患者ヲ發生シタルヲ以テ直ニ傳染病院ニ收容シ加療セシメ一面ニハ町村長主任書記町村醫等其ノ部落ニ出張シ衛生組合ヲ督勵シテ嚴ニ消毒方法ヲ施行シ尙町村內臨時大清潔法ヲ勵行セシモ不幸ニシテ患者續發シ何月何日ニ至リテ漸ク終熄セリ初發ヨリ終熄マテノ患者總數何人ニシテ内死亡者何人ヲ出セリ又何月大字何々ニ實扶的里亞患者一名アリシモ時機ヲ逸セズ町村醫ヲシテ豫テ設備セル血清藥液ノ注射療法ヲ施サシメタルニ何日間ヲ以テ全治シ他ニ新患者ヲ出スコトナクシテ熄ミタリ  
種痘ハ春秋二回未痘兒及再三種マテ施行スルヲ例トスルモ昨年ハ何地方ニ於テ天然痘患者發生シ稍々流行セントスルノ兆アリシニ依リ之カ豫防策トシテ何月何日ヨリ何日ニ至ルマテ臨時種痘ヲ行ヒ何十歳以下ノ者ニ對シ接種セシメタリ  
衛生思想ノ普及ヲ期センカ爲昨年何月衛生談話會ヲ開キ毎戸男女各一名以上出席セシメ醫師何某ヲ聘シテ衛生上ノ講話ヲ爲サシメタルニ頗ル聽衆ニ感動ヲ與ヘタルモノ、如ク一般ニ進ンテ清潔法ヲ勵行シ且隱匿ノ弊風ナキニ至レリ  
衛生組合ニ對シテハ組長ノ給料ハ町村費ヨリ一ケ月ニ付何程ツ、組長ノ給料ヲ補助シ組長ニハ每週一回組内ヲ巡回シ清潔法施行ノ適否汚物ノ掃除患者ノ有無等ヲ調査シ時々實況ヲ役場ニ報告スルノ責ヲ負ハシメ成績ノ舉ラサルモノニ對シテハ補助ヲ停止スルコト、シ組



合規約ノ勵行ヲ期シ嚴密ニ監督ヲ加ヘタルノ結果連年傳染病患者ヲ現出スル何部落ノ如キモ全ク其ノ跡ヲ絶ツニ至レリ

第四 勸業

一 農業

普通農事 昨年何月村內各所苗代田ニ螟虫發生シ本田ノ插秧ニ際シテ漸次蔓延ノ兆ヲ現ハシ單リ當業者ノ驅除ノミニ委スヘカラサルヲ認メ何月何日町村會ノ議決ヲ經テ害虫驅除豫防委員何名ヲ設ケ夫役何百人ヲ賦課シ各豫防委員ノ擔當區域ヲ定メ役場吏員ト共ニ當業者及夫役ヲ督勵シテ専ラ之カ驅除豫防ニ從事セシメタリシモ當時ノ氣候ハ平年ニ比シテ溫度頗ル高ク一時蔓延ノ勢猖獗ニシテ頗ル痛心スル所アリシモ吏員及各當業者カ非常ノ熱心ヲ以テ着々其ノ撲滅ニ從事シタルカ爲幸ニ其ノ禍害ヲ未タ甚シカラサルニ防遏スルコトヲ得之ヲ秋收ノ結果ニ徴スレハ其ノ被害ハ僅カニ平年ニ比シ約一割内外ノ減收ヲ以テ終ルコトヲ得タリ

養蠶 養蠶戶數ハ年々著シク増加シ昨年春期飼育戶數ハ百五十戸ニ達シ前年ニ比シ五十戸ノ増加ヲ示セリ依テ此ノ際一層其ノ改良獎勵ヲ加フルノ必要ヲ感シ養蠶巡回教師一名ヲ増加シテ三名ト爲シ親シク當業者各戸ニ就キ懇ロニ實地教授ヲ爲サシメタリシカ其ノ成績頗ル良好ニシテ平均蠶量一匁ニ付成繭高何程ニシテ總收購高何石價格何程ノ産額ニ達セリ巡回教師ニ要シタル費用ハ總計何百圓ニシテ其ノ半額ハ縣費ノ補助ヲ得タルヲ以テ町村費ノ負擔ハ百何拾圓ニ止マリ實ニ總價格ノ百分ノ何程ニ當レリ

品評會 昨年何月開催セシ何品評會(又ハ共進會)ハ出品人員何名出品數何點ニシテ受賞人員ハ何人ノ多キニ及ヘリ其ノ賞與ヲ受クルニ至ラサル者ト雖モ其ノ品質概シテ良好ニシテ

從前ノ品評會ニ比シテ全ク其ノ面目ヲ異ニシ明カニ本村ノ農業上ニ一生涯ヲ開キタルノ事實ヲ表彰セリ

第五 土木

一 道路

本町村大字何字何ヨリ大字何字何ニ達スル道路ノ改修ハ昨年何月何日日本町村會ノ議決ヲ經タルヲ以テ何月何日競争入札ニ付シ落札者何某ニ請負ハシメ何年何月何日ヨリ其ノ事業ニ著手シ何年何月何日全ク其ノ工ヲ竣ヘタリ其ノ經費ハ何千何百何圓ニシテ幸ニ豫算ニ對シテ金何拾圓ノ減額ヲ見ルニ至レリ該道路完成ノ結果近時著シク何々物産ノ輸出ヲ増加シ(旅客及荷馬車ノ交通頻繁ト爲リ)間接ニ勞働者ノ需用ヲ増加シ大ニ細民ノ生活ヲ安易ナラシムルニ至レリ

第六 稅務

一 町村稅

本町村ニ於テハ由來基本財産ノ設備甚タ乏シク町村稅ハ歲入ノ殆ト何分ヲ占ムルノ狀況ニシテ其ノ稅率比年増加シ財政ノ前途大ニ寒心スヘキモノアルヲ以テ昨年ノ豐稔ヲ機トシ大ニ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルノ必要ヲ感シ町村有山林何十何町步ニ造林ヲ實施シ且臨時ニ有志者ノ寄附金ヲ募集スルノ外將來十餘年間特別稅トシテ反別割ノ所得稅及演劇興行稅ヲ新設シ基本財産ノ蓄積ニ充テ將來漸次町村稅ノ輕減ヲ計ルノ計畫ヲ立テ昨年何月何日之ヲ町村會ノ議決ヲ經タルヲ以テ直ニ許可稟請ノ手續ヲ爲シ全年何月何日ヨリ之ヲ施行セリ即チ本年度ノ稅目ハ何々ニシテ其ノ上半年度ニ於ケル賦課徵收ノ狀況ハ左ノ如シ

稅目	賦課		納期內徵收		納期後徵收		未納
	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	

地方制度

合計									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

右各税目ノ賦課人員及税額ヲ以テ昨年度上半年度分ニ比シ營業割及戸別割ニ於テ著シキ増額アルヲ見ルハ何々業發達ノ爲營業者ノ増加シタルト何々ノ爲入寄留者ノ増加シタル結果ナリトス  
 徵稅ノ狀況ハ幸ニ漸次良好ニ赴キ地價割及所得割ニ於テハ一人ノ滯納者ヲ見ス他ノ各税ニ於テモ滯納者頗ル僅少ニシテ總中何々又ハ何々部落ニ於テハ其ノ成績最モ良好ナルヲ見ル之レ畢竟一昨年來實施セル納稅組合ノ効果ニシテ將來一層奮テ組合規約ノ履行及納稅ニ對スル義務心ノ養成ニ力メント欲ス

備考

- 一本書ニ記載スヘキ事項並其ノ順序ハ左ノ例ニ依ルヘシ
- 第一 庶務
  - 一 人口戸數
  - 二 吏員ノ異動、事務ノ分科及處務ノ狀況
  - 三 行政機關ノ構成、吏員ノ就職、退職並其ノ事由、事務分科ノ異動、事務ノ繁閑並受發文書ノ件數等
- 第二 議會

町村會議員撰舉有權者ノ員數、選舉ノ種類及狀況、選舉ニ關スル訴願及訟訴、町村會ノ開會度數、日數、件數並其ノ可決、修正、否決ノ區別、毎回出席議員ノ一日平均數、衆議院議員選舉其ノ他各種議員選舉ノ回数並其ノ概況等

- 四 基本財産
  - 一 増殖ニ關スル計畫、施設及其ノ成績貸付金穀ノ收納又ハ延滞整理ノ方法並ニ其ノ狀況等
  - 二 何々
- 五 何々
- 第二 學事
  - 一 學校
    - 一 學校ノ設置、廢止及其ノ設備ニ關スル計畫並施設ノ要領、職員ノ異動生徒ノ増減並其ノ原因學齡兒童就學並奮勵ノ狀況、學校、家庭トノ連絡其ノ他學事獎勵ニ關スル諸般ノ施設等
    - 二 幼稚園
      - 一 家屋ノ建築其ノ他諸般ノ設備、職員ノ異動、生徒ノ増減並ニ其ノ原因等
    - 三 學校基本財産
      - 一 基本財産ノ例ニ依ル
    - 四 風教
      - 一 貧民ノ救助、不良少年ノ感化、慈善會、耆老會、婦人會、少年會其ノ他風教ニ關スル諸般ノ施設及其ノ成績等
      - 二 第三 衛生
        - 一 傳染病

傳染病院 隔離病舎等ノ設備、傳染病疫流行及其ノ豫防救治ノ狀況、種痘ノ施行、衛生思想普及方法及成績、衛生組合ノ狀況等

二 汚物及清潔

上水及下水ノ設備、汚物掃除並清潔法實施ノ狀況等

三 埋火葬

墓地及火葬場ノ設置、廢止及管理ノ狀況、使用方法又ハ料金ノ變更若ハ増減等

四 獸疫

獸疫ノ種類及之ニ對スル施設ノ狀況等

五 病院

設備、職員ノ異動、入院患者ノ増減、使用方法及料金ノ變更又ハ増減並維持保存ノ方法等

六 何々

以上掲グルモノ、外醫師、藥劑師、産婆、看護婦ノ養成又ハ体育ノ獎勵等ニ關スル重要ナル事項

第四 勸業

一 農業

普通農事、漁業、畜産、蠶業、殖林等各種農業ノ盛衰被害ノ有無等其ノ他總テ農事ノ改良、保護、獎勵等ニ關スル施設並其ノ效果等

二 工業

製糸業、機業、製紙業其他製造業ノ盛衰及改良、保護、獎勵等ニ關スル施設並其ノ效果等

三 商業

各種商業ノ盛衰其ノ他總テ商業ノ改良、保護、獎勵等ニ關スル施設並其ノ效果等

四 何々

以上掲グルモノ、外産業組合、勤儉貯蓄其ノ他勸業上重要ナル事件ノ狀況等

第五 土木

一 道路

主要ナル道路橋梁ノ新設、改修等ニ關スル計畫及施設ノ要領並其ノ效果等

二 河川

主要ナル河川ノ浚渫、堤防又ハ護岸等ノ新設、改修等ニ關スル計畫及施設ノ要領並其ノ效果等

三 用惡水

用水ノ涵養、用惡水路ノ新設、改修等ニ關スル計畫及施設ノ要領、水受又ハ排水反別、管理方法並其ノ事業ヨリ生スル效果等

四 何々

以上掲グルモノ、外土木ニ關スル主要ナル事業ノ計畫及施設ノ要領並其ノ效果等

第六 稅務

一 國稅

右二項ニ就テハ其ノ稅目、賦課及滯納ノ人員、稅額其ノ増減並原因等

二 縣稅

三 町村稅

財政計畫ノ要領、税目ノ廢設又ハ變更、各税目ニ對スル賦課人員及税額ノ増減並其ノ原因、徵税ノ狀況、滯納人員及税額ノ増減其ノ原因並防遏ノ方法等

四 税外收入

財産ヨリ生スル收入其ノ他主要ナル税外收入ノ増減及其ノ原因並町村税ニ對スル歩合等

第七 會計

一 金錢ノ出納

收入金額ト支出金額トノ關係、費用節約ノ方法、一時借入金若ハ公債ノ有無及其ノ償還ノ狀況等

二 物品會計

物品會計整理ノ方法其施設ノ要領等

三 決算

豫算ニ對スル決算金額ノ増減及其ノ原因、決算整理ノ遲速、審査並認定ニ關スル狀況等

一 本書ハ町村ニ於ケル行政ノ大要就中町村會ノ議決ノ執行ニ關スル狀況ヲ明カニスルヲ目的トス些末ノ事項ハ之ヲ記載スルヲ要セス

一 本書ニ記載スル事項ハ可成簡單明確ニ之ヲ記述シ一見其ノ事件ノ要領ヲ了解シ得ヘカラシムルコトヲ要ス

一 各項目ニ掲グル事件ニ關スル訴願訴訟ノ要領ハ其當該項目ノ部ニ併記スヘシ

第三號樣式

何町村(區)財産明細表

種	類	摘要	數	量	時	價
---	---	----	---	---	---	---

(一) 町村基本財産												
土地	田	畑	宅地	何々	役場敷地	何學校敷地	建物	役場	何學校	公會堂	何々	證券
地反	地反	地反	地反	地反	地反	地反	建坪	建坪	建坪	建坪	建坪	額面
價別	價別	價別	價別	價別	價別	價別	坪					圓
												圓
												圓

何銀行株券		額面	
現金		圓	
貸付金			
預入金			
現在金			
米穀		石	
米			圓
貸付			
預入			
現在			
麥			
貸付			
預入			
現在			
合計			

備考  
 學校基本財産及基本財産ニ非サル財産モ本例ニ準シ順次列記シ合計及通計ヲ付スヘシ  
 第四號様式 (町村吏員名簿)

町村長(助役、收入役、委員、區長、區長代理者、書記、附屬員)之部

就職年月日	職名	報酬額	退職年月日	事由	摘要	住所	氏名	生年月日

備考

- 一 本簿ハ其ノ職名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ケ更迭ノ都度順次記入スヘシ
- 一 就職年月日ノ欄ニハ認可ヲ受ケヘキ吏員ニ付テハ認可ノ年月日其ノ他ハ當選又ハ選任年月日ヲ記入スヘシ
- 一 満期年月日ノ欄ニハ本簿ニ登録ノ初ニ於テ其ノ任期満限トナルヘキ期日ヲ記入シ置クヘシ
- 一 報酬又ハ給料額ノ欄ニハ其ノ増減アリタル毎ニ其ノ金額ヲ記入スヘシ
- 一 有給町村長、有給助役及收入役任期中退職シタル場合ニ於テハ期日ヲ指定シ退職ヲ申立町村會之ヲ承認シタルトキハ其ノ指定ノ日、期日ヲ指定セサルトキハ申立ノ翌日ヨリ三ヶ月目ノ當日ヲ以テ退職ノ年月日トシ記入スヘシ
- 一 退職事由ノ欄ニハ任期満限、死亡、解職、失職、懲戒解職又ハ私事ノ故障ニ依リ辭職

等ノ區別ヲ記入スヘシ

- 一 摘要ノ欄ニハ報酬又ハ給料額ノ増減、改氏名、停職及其ノ年月日等ヲ記入スヘシ
- 一 住所ノ欄ニハ大字名ノミヲ記入スヘシ
- 一 町村長、助役、収入役及書記ノ異動ハ町村制實施ノ當時ニ遡リ調査記入スヘシ
- 一 町村長、助役又ハ収入役ノ職務ヲ管掌スル官吏若ハ臨時代理者ハ本例ニ準シ各相當ノ部門ニ記入スヘシ

第五號様式

吏員出張命令簿

月	日	町村		命	令	被命者職氏名	被命者印
		長印	用印				

備考

一 辭令ヲ發スルトキハ本簿ニ記載シ被命者印ノ欄ニ辭令發付ノ旨ヲ記載スヘシ

第六號様式

學校職員名簿

就職年月日	俸給額	退職年月日	退職事由	摘	要	職氏名	生年月日

備考

一 本簿ハ學校ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ケ更迭ノ都度順次記入スヘシ

一 俸給額ノ欄ニハ等級金額加俸額、並ニ其ノ増額ヲ記入スヘシ

一 退職事由ノ欄ニハ辭職(疾病、自己ノ便宜、官ノ都合等ノ別ヲ明記ス)轉任、懲戒免職死亡、休職滿期等ノ區別ヲ記入スヘシ

一 摘要ノ欄ニハ俸給ノ増減、改氏名、休職及其ノ年月日等ヲ記入スヘシ

第七號様式 (議員名簿)

町村會議員ノ部(一級)(二級)

選舉種類	舉就年月日	職滿期年月日	退職事由	職	摘	要	住所	氏名	生年月日

備考

一 本簿ハ町村會、區會、町村組合會、町村學校組合會及水產組合會等其ノ會ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ケ調製スヘシ

議案件名簿

一 選舉種類ノ欄ニハ定期改選、補缺選舉又ハ増員選舉等ノ區別ヲ記入スヘシ

一 就職年月日ノ欄ニハ選舉ノ年月日ヲ記入スヘシ但シ同時ニ一級選舉ト二級選舉ヲ行フニ當リ其ノ日ヲ異ニシタルトキハ總テ二級選舉ノ日ヲ記入スヘシ

一 満期年月日ノ欄ニハ本簿ニ登録ノ初ニ於テ其ノ任期限満トナルヘキ期日ヲ記入シ置クヘシ

一 補缺選舉ノ議員ニ付テハ何人ノ補缺ナルカヲ摘要欄内ニ記入スヘシ

一 退職事由及住所ノ記載方ハ第四號様式ニ準ス

第八號様式

番 號 件	名	提出月 日	議決月 日	付議ノ結果
一				可決
二				修正可決
三				否決

備考

一 番號ハ歳首ニ始マリ歳尾ニ終ル

第九號

郵便發送簿

年月日		郵便量目	電信字數	摘要	金額	宛	名	差 出 名
				書				
				留				
				返信料付				

第十號様式 (文書件名簿)				
(發)		(受)		編纂符號
何 第 號	月 日	何 第 號	月 日	
何 何 年 保 存	事 記 取 扱	何 月 何 日	何 月 何 日	何 何 年 保 存
	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	
何 第 號	件 名	件 名	差 出 名	編纂符號
何 何 年 保 存	(發送ノ例)	(收受ノ例)		
何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	
何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	
何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	
何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	
何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	
何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	
何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	何 何 月 何 日	

取扱記事	
月日	月日

文書件名簿

何町(村)役場

備考

- 一 番號ハ冒頭ニ課名又ハ係名ノ一字ヲ符記スヘシ
- 一 收受文書ハ件名ノ下欄ニ出所ヲ記シ上欄ニ受ト記シ書類ヲ配付シタルトキハ主任ノ下ニ取扱主任ノ認印ヲ徴スヘシ
- 一 町村役場ニ於テ發議起案シタルモノハ件名ノ下欄ニ宛名ヲ記シ上欄ニ發ト記シ主任ノ下ニ發議者認印スヘシ
- 一 前二項ノ文書ニ關シ更ニ往復ヲ爲ストキハ取扱記事ノ欄ニ其ノ旨ヲ記入シ收受又ハ發送ノ手續ヲ爲スヘシ
- 一 係員ニ於テ處理延期許可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨記入スヘシ
- 一 完結文書ヲ編纂スルトキハ編纂符合及保存年限ヲ取扱記事ノ上欄ニ記入ノ上主任認印スヘシ但シ符合ハ標目ノ頭字ヲ用ヒ町村規定ハ「規」町村經濟ハ「經」ト記スヘシ
- 一 記事多クシテ記入スヘキ欄ナキニ至リタルトキハ便宜他欄ニ移記(件名ハ之ヲ朱書ス)シ取扱記事ノ上欄ニ第何號ノ次ニ移スト記入スヘシ
- 一 前年中ニ於ケル未了結事件ハ後年ニ於ケル件名簿ノ始ニ年別ニ移記スヘシ但シ其ノ記號ハ尙當初ノ記號ヲ用フヘシ
- 一 番號ハ歳首ニ始リ歳尾ニ終ル

第十一號様式(回議書ノ例)

明治何年何月何日 立案 何第何號 淨書 明治何年何月何日 施行

町村長

主任 氏 名

助 役

何 課

何 課(合議ノトキ)

上 申 案

何々宛

町(村)長名

何々ニ付上申

何々………

年 月 日

回 議 用 紙

何 町 村 役 場

理由 何々ニ依リ本案ヲ起ス

参照 何々………

編纂番號



備考

助役分掌事務ニ就テハ最初ノ町村長ヲ削リ助役ノ次ニ町村長ト記シ合議スルモノトス

第十二號様廿 (令達件名簿)

規		例	
番	號	番	號
一	何月何日	一	何月何日
件		件	
名		名	
發送	主任	發送	主任
印		印	

達

番	號	發布	月日	件	名	發送	主任
一	何月何日					印	

公 告

番	號	發布	月日	件	名	發送	主任
一	何月何日					印	

諭 告

番	號	發布	月日	件	名	發送	主任
一	何月何日					印	

備考

一 本簿ニ登記シタル書類ニ關シ往復ヲ爲スコトアルトキハ文書件名簿ニ記載シ其ノ取扱

ヲ爲スヘシ

一 本簿ハ一役場ニ一冊ヲ設備シ條例、規則、達、公名、諭告ノ區別ニ從ヒ部門別ト爲スヘシ

一 番號ハ歲首ニ始リ歲尾ニ終ル

第十三號様式(期限表)

臨時報	期限	件	名	係名	摘	要
事實發生ノトキ	何々報告	何々	何々	何年何月縣令第何號		
何日後何日以内	何々	何々	何々			
週報	何々					
月報	何々					
十日報	何々					
季報	何々					
一月四日 七月十日 末月	何々					

半年報	七月 月末日	何々	何々			
年報	一月 月末日	何々	何々			
二 月	何々	何々	何々			
日	何々	何々	何々			
何 日	何々	何々	何々			
(以下倣之)						
三年報	何年 起リ	何々	何々			
何月何日	何々	何々	何々			

五年報

何年起リ  
何月何日

何々

何々

備考

一 臨時報ノ部ニ於ケル記載方ハ即報ヲ先ニシ期間アルモノニ付テハ期間ノ短カキモノヲ先ニスヘシ

第十四號様式 (供覧ノ例)

△印ハ朱書

何々 屈

何々、、、、、、、、、、、

年 月 日

何 某

町 村 長 宛

△町 村 長 印

△助 役 印

△何 課 印

△主 任 印

備考

餘白ナキトキハ欄外ニ記入スルモノトス

○卅七年六月卅日付ヲ以テ  
第六條第一項第一號中「誤  
第四十年二月二十七日訓令  
第七號ニテ追加改正アリ

○訓令第十一號(三十七年二月十二日)

郡役所 町村役場

町村基本財産管理規程準則左ノ通定ム  
町村ニ於テ基本財産處分ノ爲規程ヲ設ケ郡參事會ノ許可ヲ受ケントスルトキハ本訓令ニ準シ  
之ヲ規定スヘシ  
町村ニ於テ基本財産ノ處分ニ關シ郡參事會ノ許可ヲ請フトキハ特別ノ事由アル場合ヲ除ク外  
郡長ハ總テ本訓令ノ規定ニ準シ處理スヘシ  
本訓令ハ明治三十七年二月二十日ヨリ施行ス  
明治三十六年<sup>四</sup>訓令第三十三號ハ本訓令施行ノ日ヨリ廢止ス

基本財産管理規程準則

- 第一條 町村基本財産ハ別ニ規定アルモノヲ除ク外本規程ニ依リ之ヲ管理ス
- 第二條 金錢ハ政府若ハ地方公共團體發行ノ公債證書又ハ日本銀行、勸業銀行、興業銀行若  
ハ農工銀行ノ株券債券又ハ不動産ニ換ヘテ之ヲ管理ス  
前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ郵便貯金ト爲シ又ハ確實ナル銀行ニ預ケ入ル、モノ  
トス但シ銀行ニ預ケ入ル、トキハ其ノ銀行ニ付別ニ郡參事會ノ許可ヲ受クルモノトス  
金錢以外ノ消費物ハ之ヲ金錢ニ換ヘ前二項ノ例ニ依リ之ヲ管理ス但シ特別ノ事由アルトキ  
ハ現物ノ儘保存スルコトヲ得
- 第三條 不動産ノ貸付ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス
- 一 竹木ノ栽植、伐採又ハ建物ノ建設ヲ目的トスル土地ノ貸付ハ二十年
  - 二 前號以外ノ目的ノ爲ニスル土地ノ貸付ハ十年
  - 三 建物ノ貸付ハ五年

地主權及永小作權ノ存續期間ハ五ヶ年ヲ超ユルコトヲ得ス  
第四條 町村有林野ニ部分林ヲ設定スル場合ハ國有林野部分林規則ヲ準用ス但分收部合ハ町  
村會ノ議決スルトコロニ依ル

第五條 基本財産ノ貸付又ハ預人ニ付テハ利息其ノ他貸付料ヲ徴收ス但シ不動産ノ一時貸付  
ニ付テハ別ニ定ムル所ニ依リ貸付料ヲ徴收セサルコトアルヘシ  
不動産ノ貸付料額ハ地方ノ比準ニ依リ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム  
郵便貯金又ハ銀行預ケ入金ノ利息ハ政府又ハ銀行ノ一般ニ定ムル所ニ依ル

第六條 不動産ノ貸付料ハ一時貸付ニ付テハ其ノ時々之ヲ前納セシメ其ノ他ノ徴收期限ハ一  
年ヲ超ヘサル範圍ニ於テ各個ノ契約ニ依リ町村長之ヲ定ム

第七條 不動産ヲ貸付スルハ一時貸付ヲ除ク外左ノ各號ニ依リ擔保ヲ徴スルモノトス但シ  
借受人カ公共團體ナルトキハ之ヲ徴セサルコトアルヘシ  
一 物件ヲ以テ擔保ニ供スルハ第二條第一項ニ記載スル證券、不動産其ノ他ノ證券ニシ  
テ先順位ノ擔保權カ現ニ存在セザルモノタルコトヲ要ス但シ第二條ニ記載セサル證券ニ  
付テハ別ニ郡參事會ノ許可ヲ受クルモノトス

二 擔保ニ供スル物件ノ數量ハ貸付料其ノ他ノ損害ヲ辨償スルニ十分ナルコトヲ要ス  
三 前二號ニ依リ擔保ヲ供セサルハ借受人ハ保證人ヲ立ツルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ  
ハ保證人ハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一) 能力者タルコト  
二) 辨濟ノ資力ヲ有スルコト  
三) 本町村又ハ隣接町村内ニ住居スルコト

(四)二人以上ナルコト

五) 保證人間ノ連帶ヲ約シ又ハ各保證人ニ於テ全額ヲ辨濟スヘキ特約ヲ爲スコト  
擔保ニ供スル物件カ不動産ナルハ登記ヲ受クルコトヲ要ス  
擔保ニ供スル物件カ消滅シ又ハ其ノ價格カ減損シタルハ遲滞ナク第一項第一號ニ記載ス  
ル物件ヲ以テ之ヲ補充シ又ハ第三號ノ條件ヲ具備スル保證人ヲ立ツルコトヲ要ス

保證人カ第一項第三號ノ條件ヲ欠クニ至リシトキハ遲滞ナク同一ノ條件ヲ具備スル保證人  
ヲ立テ又ハ第一號及第二號ニ依リ相當ノ物件ヲ供スルコトヲ要ス

第八條 借受人ニ於テ貸付物件ヲ轉貸シ其ノ原形ヲ變更シ又ハ契約若ハ物件ノ性質ニ依リテ  
定マリタル用方以外ニ之ヲ使用シ又ハ其ノ物件ヲ荒廢ニ歸セシメ若ハ毀損、亡失シ又ハ貸  
付料ノ納付ヲ怠リ其ノ他本規定ノ條項ニ違背シタルハ之カ爲ニ生シタル損害ヲ賠償セシ  
メ其ノ物件ノ現存スル場合ニ於テハ貸付期間ニ拘ラス之ヲ返還セシムルコトアルヘシ

前項ノ損害賠償額ハ本町村ニ於テ之ヲ定ム  
第九條 公用ニ供スルカ爲必要ナル場合ニ於テハ貸付期間ニ拘ラス貸付物件ヲ返還セシムル  
コトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ少クとも三十日前ニ之ヲ告知スヘシ

第十條 前二條ノ規定ニ依リ貸付物件ヲ返還セシメタル場合ニ於テ借受人ニ損害ヲ生スルコ  
トアルモ本町村ハ其ノ責ニ任セス

附 則

第十一條 本規程ニ依リ不動産ヲ貸付スル場合ニ於テハ其ノ借受人チシテ本規程ヲ承認セシ  
ムルコトヲ要ス

○訓令第十四號(三十八年三月二十三日)  
郡役所 町村役場  
町村ニ於テ起債ノ許可ヲ受ケタル後之カ借入ヲ爲サス若ハ減額ヲ爲シ又ハ利率ヲ低減シタル  
モノニ付テハ別ニ許可ヲ要セス右ノ事實アリタルトキハ郡役所及當廳ヲ經テ其ノ旨速ニ内務  
大藏兩大臣ヘ報告スヘシ

○三十九年十一月二十二日  
 訓令第四十九號第六條第三  
 八號ノ次ニ一號ヲ加ヘ第七  
 條十六號ヲ削ル  
 ○四十年六月十九日訓令第  
 二八號ニテ第六條ノ三二  
 及別冊第十二条中ヲ改ム  
 ○四十二年二月二十五日訓  
 令第九號ニテ第六條中ニ七  
 令第七表ヲ改ム  
 ○四十二年七月二十七日訓  
 令第三十號ニテ第六條中ニ七  
 加

○訓令第三十七號(三十八年八月八日)

郡役所 町村役場

明治三十一年八月訓令第七十七號郡町村事務報告例左ノ通り改正ス但様式ハ別ニ頒ツ

郡町村事務報告例

第一條 郡及町村ノ事務ハ別ニ稟請報告ヲ要スヘキ規定アルモノヲ除ク外本例ニ依リ報告ス  
 ヘシ

第二條 本例ニ依リ報告スル事項ニシテ別ニ報告ノ時期ヲ定メサルモノハ即報トシ直ニ報告  
 スヘシ

第三條 報告書ノ記載方ハ一事件又ハ一表毎ニ紙頁ヲ改メ標題ニ何々報告ト記シ報告ノ事實  
 ナ摘録シ紙尾ニ報告ノ年月日宛名ヲ記載シ署名捺印スヘシ

第四條 報告事項ニ著シキ異動ヲ生シタルモノ其ノ他必要ト認ムルモノアルトキハ其ノ事由  
 ナ備考トシテ附記スヘシ

第五條 町村長又ハ水利組合管理者ヨリ知事ニ報告スルモノハ總テ郡長ヲ經由スヘシ

第六條 左ニ記載スル事項ハ知事ニ報告スヘシ  
 一 郡會議長、副議長、議員及郡參事會員ノ就職、退職(満期退職)其ノ他異動

二 郡會及郡參事會議決書並郡參事會裁決書ノ謄本 同 郡長報告

三 郡長ニ於テ郡參事會ノ權限ニ屬ルル事件ヲ專決シタルトキハ其ノ處分 同

四 郡會、郡參事會ノ議決ヲ取消シ又ハ再議ニ付シ若ハ郡會ノ停會ヲ命シタルトキハ其ノ事  
 件ノ顛末 同

- 五郡委員ノ選任、退職其ノ他異動 同
- 六郡出納吏ノ任免其ノ他異動 同
- 七郡町村及水利組合債ノ借入及償還 第一表 郡長報告
- 八郡ノ事務ニ關スル處務規程ノ設定及改廢 同
- 九郡會議員選舉調寫第二表 同
- 一〇郡有財產表(町村財產明細表ニ準ス) 郡長一月十日限
- 一一郡歲入出決算 同
- 一二郡會開會日數及議決件數調 第三表 全一月末日限
- 一三郡參事會日數及議決件數調 第四表 全
- 一四前年中那役所事務ノ綱要 第五表 全
- 一五郡吏員調 第六表 郡長二月末日限
- 一六有給郡吏員退職料受領人員及金額調 全
- 一七町村境界ノ變更地種反別戸數人口調及見取圖ヲ添付スヘシ 郡長報告
- 一八町村組合ノ設置ヲ許可シタルルハ其ノ規定其ノ廢止ヲ許可シタルルハ其ノ事由 全
- 一九助役分掌事務ノ許可(制第六十九條) 全
- 二〇強制豫算ヲ命シタルルハ其ノ町村名、事由及金額 全
- 二一町村巡視及會計出納檢閲ノ狀況 全
- 二二町村及水利組合吏員ノ職務停止 全
- 二三町村長ノ處分ヲ取消シタルルハ其ノ顛末 全

- 二四町村及水利組合吏員ノ懲戒處分 町村長報告
  - 二五町村長、助役ノ退職(滿期退職)其ノ他異動 町村長報告
  - 二六助役ノ町村行政事務分掌(制第七十條) 全
  - 二七町村會議員選舉調 第七表 町村長ハ郡長ニ一月卅一日限郡長ハ二月末日限
  - 二八町村吏員數報酬給料額調 第八表 全
  - 二九町村吏員退職料受領人員及金額調第九表 全
  - 三〇町村基本財産調 第十表 町村長四月十日限
  - 三一町村歲入出豫算一覽表 第十一表 郡長四月末日限
  - 三二町村歲入出豫算追加更正 第十二表 郡長一ヶ年度分ヲ翌年郡長度四月末日限
  - 三三町村歲入出決算一覽表 第十一表ニ準ス 郡長八月末日限
  - 三四水利組合歲入出豫算及決算 管理者報告
  - 三五町村稅滯納處分調 第十三表 町村長ハ郡長ニ七月末日限郡長ハ八月末日限
  - 三六町村一ヶ年負擔額調 第十四表 全
  - 三七新ニ事業ヲ爲ストキハ其ノ計畫方法 町村長報告
  - 三八郡統計書 每三年 郡長十月末日限
  - 三九町村歲入現在調 第十五表 町村長ハ郡長ニ二月五日五月五日限郡長ハ各其月十五日限
  - 四〇町村是實行成績ノ概數 第十八表 町村長ハ郡長ニ八月一日限郡長ハ八月十五日限
- 第七條 左ニ記載スル事項ハ町村長(水利組合ニ係ルモノハ管理若)ヨリ郡長ニ報告スヘシ
- 一 町村會議員選舉會及分會開會ノ日時(各級別)及場所
  - 二 町村會議員選舉ノ結果並其ノ選舉錄ノ謄本



- 三町村會議員ノ退職(滿期退職)其ノ他異動
  - 四町村會及水利組合會議決書並町村會裁決書ノ曆本及議事ノ景況
  - 五町村會及水利組合會議決ノ執行ヲ停止シ再議ニ附シタル事件並事由
  - 六臨時又ハ常設委員ノ設置、廢止及其ノ分掌事務
  - 七區長、區長代理者、常設委員、書記、付屬員ノ就職及退職其ノ他異動
  - 八收入役ノ退職(滿期退職)其ノ他異動
  - 九町村歲入出豫算
- 一〇町村事務報告書及町村財產明細表
- 一一町村歲入出豫算追加更正
  - 一二町村歲入出決算
  - 一三町村長助役收入役ノ事務受渡
  - 一四全上ノ顛末
  - 一五町村規定
  - 一七町村會計檢査報告 **第十六表**
  - 一八町村吏員勤怠表 **第十七表**
  - 一九行政及民事訴訟ノ原被告トナリタル事件ハ其ノ事件ノ要領
- 三月末日限  
全  
七月末日限  
期日前三日

○訓令第四十五號(三十八年十一月十四日) 郡役所 公立學校 町村役場

客年二月開戦以來爰ニ二十閱月軍國多事ノ秋ニ際シ地方有司ハ忠誠能ク其ノ職責ヲ盡シ召集ニ徵發ニ命令一タヒ下ルヤ立ロニ處辨シ國庫債券ノ募集出征軍人ノ後援ヨリ勸業教育ノ振興並ニ基本財産ノ造成等ニ至ルマテ日夜精勵以テ縣民ノ利益溢セル奉公ノ義氣ヲ善導シ非常ノ時局ニ貢獻シタリ是レ本官ノ深ク其ノ勞ヲ多トスル所ナリ

今ヤ威武中外ニ揚リ國光四表ニ輝キ平和ノ光榮ヲ收メテ茲ニ優渥ナル大詔ヲ拜ス

聖旨深遠恐懼措ク所ヲ知ラス苟モ職ニ地方ニ在ル者拳々服膺シテ益々其ノ職責ヲ全フシ治務ヲ舉ケサルヘカラス主務大臣亦諄々其ノ趨向スル處ヲ訓示セラレタリ此ノ一大新紀元ニ逢遭シ及時ノ務ハ勿論邦家永遠ノ計ヲ畫シ共ニ事ニ茲ニ從ヒ黽勉努方シテ以テ聖旨ニ奉答スル所ヲラムコトヲ期ス

抑モ今回ノ事變ニ際シ出征セル兵員ノ數ハ縣下ヲ通シテ一萬千五百餘人ノ多キニ達シ死歿又ハ癘癘ニ陥リシ者亦尠カラス今ヤ戦局終テ告ケ凱旋ヲ迎フルノ時ニ際シ深思遠慮直チニ適應ノ措置ヲ爲サ、ルヘカラス其ノ郷閭ニ歸ル者ハ優遇ヲ爲シ其ノ癘癘ニ陥ル者ハ相當ノ保護ヲ加ヘ尙ホ名譽ヲ表示スルノ方法ヲ講シ其ノ戰病死者ニ對シテハ敬慕追遠ノ誠ヲ效シ一ハ以テ遺族ニ慰安ヲ與ヘ一ハ以テ殉難ノ芳烈ヲ後世ニ傳ヘ忠君愛國ノ志氣ヲ涵養スルノ資ト爲シ若シ其ノ遺族ニシテ自活ノ途ヲ缺キ或ハ子弟致養ノ資ニ窮スル者アラシカ宜シク其ノ救護ノ方法ヲ確立スルヲ要ス其ノ方法ニ就テハ別ニ諮ル處アルヘシ

凱旋軍人ノ多クハ久シク戰場ノ生活ヲ爲シ生死ノ間ニ出入シ意氣概ヲ軒昂シ解カレテ郷里ニ歸還スル者直チニ常業ニ拮据スルコト難ク動モスレハ粗放ニ流レ本業ヲ拋擲スルニ至ルノ虞

ナシトセス之ヲ等閑ニ付スルハ管ニ本人既得ノ名譽ヲ汚損スルノミナラス延テ一國ノ産業ニ多大ノ影響ヲ來スヘシ此等在郷者ヲ指導シテ本業ニ勉勵セシメ且ツ其ノ出征ノ爲メ職業ヲ失ヒタル者ニ對シテハ之ニ業ヲ介シ職ヲ授ケ以テ如上ノ弊害ヲ防止スルハ地方當局者及地方有志者ノ眞摯ナル注意ニ待タサルヲ得ス此等軍人ノ行動ヲ監督シ以テ常ニ恭謙自重シテ既得ノ名譽ヲ失ハス各自ノ業務ニ勉勵シ出テハ忠勇ノ軍人タリ入リテハ誠實ノ良民タルコトヲ期セシムヘシ加之國運ノ伸張ニ伴ヒ將來國際ノ形勢何時變態ヲ生スルヤモ亦測ルヘカラス故ニ常ニ在郷者ヲシテ能ク軍人ノ品性ヲ保持シ一旦緩急アルトキハ一令ノ下ニ直チニ起テ國家ヲ擁護スルノ覺悟ヲ忘ルコトナカラシムヘク篤ク督勵注意ヲ加フルヲ要ス

今ヤ帝國ハ世界列強ノ班ニ伍シ國民ノ一舉一動ハ各國ノ凝視スル所トナリタリ苟モ帝國民タル者ハ其ノ胸臆ヲ廓大ニシ深ク言動ヲ慎ミ文明ノ光榮ヲ毀傷スルコトナキヲ期セサルヘカラス露國ハ是レ昨ノ敵トセル所ナリシモ今ハ干戈ヲ戢メテ締盟友邦ノ一タリ宜シク善隣ノ誼ヲ温メ疾視スルカ如キ偏狹ナル思想ナカルヘキヲ要ス

曩ニ非常特別稅法ノ發布セラル、ヤ團體事業中之カ緊縮ヲ圖リ時局ニ對シ相當ノ措置ヲ採リシモノ今ヤ平和克復ノ機ニ當リ事ノ輕重緩急ヲ稽ヘ其ノ節約シ得ヘキモノハ之ヲ緊縮シ其ノ助長スヘキモノハ財政ノ許ス範圍内ニ於テ之ヲ繼續シ尙ホ進ンテ新ニ計畫ヲ立ツル等國運ノ發展ニ資セサルヘカラス惟フニ戰後帝國ノ情勢ハ急轉直下長足ノ進歩ヲ爲シ殊ニ戰捷ノ餘光ハ帝國産業ノ發達ヲ催進スヘキハ豫期スルニ難カラス宜シク今日ニ於テ潛心熟慮其ノ情勢ノ嚮フ處ヲ遠觀シ以テ適應ノ施設ヲ爲スニ遲緩ナカラムコトヲ要ス

時局ニ際シ人心ノ興奮ヲ善用シテ諸種ノ弊害ヲ改善セルモノ或ハ基本財産貸付金ノ回收或ハ納稅延滞ノ匡正或ハ部落有財産ノ統一等亦鮮シトセス又種々ノ名稱ノ下ニ事業ノ勃興セルモ

ノ或ハ勤勉貯蓄組合ノ創立或ハ紀念造林ノ經營等時局ノ終結ト共ニ組織セシムルカ如キコトアラシカ是レ實ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ時局一時ノ現象タラシムルコトナク一層鼓舞獎勵ヲ加ヘ改善振興ヲ計ラサルヘカラス

本縣ハ土地廣漠人口稀少加フルニ天惠ノ厚キ動モスレハ恬淡逸居遊怠ニ流ル、者ナシトセス然ルニ今回ノ時局ニ際シ内ニ家ニ在ル者外征將卒ノ勞苦ニ想到シテ發憤勵精セサルモノ殆ント稀レナリ宜シク此ノ現象ヲ持續セシメ或ハ勤苦勞働ノ顯著ナル者ヲ賞揚シ或ハ早起晚寢ノ時限ヲ規セシムル等縣下ノ氣風ヲ一新スル上ニ於テ相當ノ手段ヲ講シ以テ縣下民力ノ充實ト福祉ノ増進トヲ企圖スルニ最メシコトヲ望ム

國本ノ培養ヲ計ルハ今後我國ノ最モ急務トスル所ニシテ從テ此ノ方面ニ於テ活動スヘキ人物ノ養成モ亦最モ切要ナリ而シテ此際實業教育ヲ有効ニ普及セシムルハ學政上ノ急務ニ屬スルカ故ニ既設實業學校ノ整理改善ヲ圖ルハ勿論尙地方ノ情況ニ依リ確實ナル基礎ノ下ニ成ルヘク低度ノ農業學校又ハ職業學校等ヲ施設スルノ必要アルヲ認ム殊ニ實業補習學校ニ至テハ縣下未タ一校ノ設立ヲ見サルハ甚遺憾ノコトタリサレハ今後各郡町村ニ於テハ小學校其ノ他實業學校ニ簡易切實ナル實業補習學校ヲ附設センコトヲ希望ス

兒童就學出席ハ比年著シク増進セルモノアリト雖尙増加ノ餘地ナキニアラス今後一層督勵ヲ加ヘ愈々其ノ績ヲ擧ケンコトニ努ムヘシ而シテ義務教育終了者ノ高等小學校ニ入ル者未タ其ノ半ニ達セサルカ如キハ教育上最モ遺憾トスル所ナリ然ルニ國運ノ趨勢ハ義務教育ノ延長ヲ促スコト切ナルモノアリ此ノ際成ルヘク尋常小學校ニ少クトモ二ケ年程度ノ高等小學校ヲ併置シ以テ兒童ノ入學ニ便ナラシムルハ學政上最モ緊急ノコトトス而シテ之カ施設ト共ニ學級編制ヲ適切ニシ及ヒ二部教授ノ制度ヲ利用スル等勉メテ經濟上ノ事情ニ背反セサルノ措置ヲ

取ルコトヲ要ス

忠君愛國ノ精神ハ我國體ノ精華我國民ノ特長ニシテ各般教育ノ基礎タリ此ノ精神カ今回ノ戰役ニ際シ内外ニ遺憾ナク發揮セラレタルハ毫モ疑ナク容レサル所ニシテ邦家ノ慶之ニ過クルモノナカルヘシ局ニ當ル者宜シテ深ク茲ニ鑑ミ常ニ此ノ精神ノ涵養ニ努メ平時ニ在リテハ國民ヲシテ舉國一致平和的國運ノ發展ニ盡サシメ一旦緩急アラハ義勇公ニ奉スルノ實ヲ舉ゲシムルノ用意ナカルヘカラス而シテ一方ニ於テハ正直、勤勉、忍耐、克己、公德等ノ精神ヲ養成シ進取ノ觀念及ヒ勞働ヲ尚フノ氣風ヲ助長シ又貯蓄ヲ重ニスル習慣ヲ作ラシムヘシ若シ夫レ今後國民勝ニ狂レテ或ハ安逸遊惰ニ傾キ或ハ驕傲奢侈ニ陥ルカ如キコトアラハ管ニ戰勝ノ結果ヲ沒却スルノミナラス國家將來ノ爲メニ深憂ニ堪ヘス自今一層嚴戒ヲ加ヘサルヘカラス近時邦人ノ体格ハ從前ニ比シ漸次良好ニ赴クノ傾向アリト雖モ尙ホ改善ヲ要スルコト甚々切ナルモノアリ教育ノ事ニ當ル者自ラ率先シテ或ハ各種ノ運動ヲ行ヒ或ハ衣食住ノ改善ニ留意シ或ハ日常ノ攝生ニ注意シ以テ子弟及ヒ地方民人ノ模範トナリ提撕誘導ニ努ムヘシ又常ニ學校衛生ノ研究ヲ遂ケ以テ兒童生徒身體ノ圓滿ナル發達ヲ期スヘシ

普通教育ニ於テハ常ニ生活上必要ノ事項ヲ教授シ又國民的及社會的智識ノ啓發ニ努ムヘキモノナルニ其ノ教授スル所ハ徒ニ浮華高遠ニ馳スル嫌アルハ今日ノ通弊ナリ故ニ勉メテ實用的ニ教授シ常識ノ養成ヲ圖リ兼テ實業思想ヲ養成シ以テ國家ノ要望ニ應セシメンコトニ留意スヘシ

學校教育ノ効果ハ往々ニシテ社會各般ノ事情ノ爲ニ障害セラレ甚シク減退スルコトアルヲ認ムルハ大ニ遺憾トスル所ナリ此障害ヲ刈除シ青年子弟ヲシテ學校教育ノ効果ヲ永續セシムルハ國家教育上最モ留意スヘキトニシテ是レ社會教育ノ必要ナル所以ノ一ナリ學校ハ其ノ地方

ニ於ケル文化ノ中樞タルヲ以テ教職ニ在ルモノハ能ク此ノ障害ヲ刈除シテ社會ノ改良發達ヲ圖ルニ最モ適當ノ地位ヲ占メ且ツ其ノ當然ノ任務タルヲ認ム然ルニ學校ノ其ノ卒業者又ハ半途退學者等ニ對シテハ何等指導ノ方法ヲ設ケス恰モ路人ヲ見ルカ如キ感ナキヲ免カレヌ故ニ局ニ當ル者ハ他日生産ノ原動力タル一般青年ノ誘掖指導ニ努メ或ハ夜學會ヲ開キ或ハ通俗講演會ヲ開キ或ハ學校内ニ新聞雜誌及ヒ圖書ノ閱覽場ヲ設ケ或ハ教員部落駐在法ヲ設ケル等其ノ他地方適切ナル施設ヲナシ一ハ以テ智識技能ノ發達ニ資シ一ハ以テ風紀ノ矯正ヲ圖リ一ハ以テ地方生産力ノ増進ヲ促進スルコトニ力ヲ盡スヘシ

教育ノ職ニ在ルモノハ平素自己學業ノ修養ニ勉メ以テ教育上活動ノ素地ヲ作ラサルヘカラス新刊圖書新聞雜誌ノ閱覽學術技藝ノ講習ヲナシ又ハ他學校社會各般ノ現象ヲ觀察スル等勉メテ外界ノ刺激ヲ受ケ常ニ向上的進取的思想ヲ涵養スヘシ之レ其ノ職務ニ忠實ナル一要件タリ近時往々其ノ職務ニ怠慢ナルニアラスシテ其ノ職務ニ全フスルコト能ハサル者アルハ全ク這般修養ノ闕如シ時勢ノ進退ニ伴フ能ハサル結果ニシテ實ニ遺憾トスル所ナリ而シテ常ニ高潔ナル嗜好ヲ擇ヒテ野鄙粗漫ナル欲望ヲ遠ケ其ノ他實踐躬行以テ其ノ品性ノ修養ヲ怠ラサルカ如キハ又特ニ之ヲ必要トス

校內空地ハ成ルヘク之ヲ利用シ又ハ特ニ學校附近ニ地域ヲ撰定シテ諸種ノ植物ヲ移植シ花壇學校園等ヲ設ケ學校内外ノ風致ヲ美ニシ一ハ以テ教授訓練上ノ資ニ供シ一ハ以テ不知不識ノ間ニ兒童生徒ノ審美的觀念ヲ養成スヘシ其ノ他校舍校具ノ保存空氣ノ清淨光線ノ充足及表簿ノ整理ヲ圖ル等刻下尙盡スヘキモノニ乏シカラス即チ是等事項ノ整備發達ト共ニ又兼テ一般清潔ニ注意シ一度足ヲ校內ニ運ヘハ心身共ニ爽快ノ念ヲ起サシムルニ至ランコトヲ期スヘシ教育ノ内容改善ノコトニ至リテハ今後特ニ發奮努力ヲ要望セサルヘカラス其ノ方途固ヨリ一

ニシテ足ラスト雖學校職員ノ組織ヲ適確ニシ及内部ノ設備ヲ充實利用シ懇切ナル教授ト周密ナル訓練トニ依リ兒童生徒ノ實力品性ヲ昂進シ以テ能ク教育ノ効果ヲシテ適切顯著ナラシメ  
ンコトヲ期スヘシ

○告示第六十號(三十九年二月二十日)

水利組合條例ニ依リ左ノ通普通水利組合ヲ設置ス

- 一、區域 宮崎郡赤江村大字恒久ノ内字下恒久、大字田吉、全本郷北方、全本郷南方、全郡司分ノ内字西山崎
- 一、管理者 宮崎郡赤江村長

○訓令第二十三號(廿九年六月五日)

明治二十四年四月訓令第九十四號郡役所規程左ノ通改正シ本月十一日ヨリ施行ス

郡役所

郡役所規程

第一條 各郡役所ニ係ラ置キ事務ヲ分掌セシムルコト左ノ如シ

庶務係

- 一、吏員ノ進退身分ニ關スル事項
- 二、官印郡役所印ノ管守ニ關スル事項
- 三、文書ノ收受發送ニ關スル事項
- 四、議員選舉ニ關スル事項
- 五、郡經濟ニ屬スル豫算ニ關スル事項
- 六、郡行政及町村其ノ他公共團體ノ行政ノ監督ニ關スル事項
- 七、町村其ノ他公共團體ノ經濟ノ監督ニ關スル事項
- 八、兵事ニ關スル事項
- 九、衛生ニ關スル事項
- 十、社寺及宗教ニ關スル事項
- 十一、他ノ主管ニ屬セザル事項

學事係

- 一、學事ノ視察ニ關スル事項
- 二、教育學藝ニ關スル事項

勸業係

- 一、産業ニ關スル事項
- 二、土木ニ關スル事項
- 三、地理ニ關スル事項

會計係

- 一、國庫及縣經濟ニ屬スル收支出納ニ關スル事項
  - 二、郡經濟ニ屬スル收支出納ニ關スル事項
- 第二條 郡役所印ハ左ノ寸法及書式ニ依リ彫刻スヘシ

曲尺	宮崎縣
方一	何郡役
寸三	
分	所

- 第三條 郡長出縣又ハ所轄外ノ出張ハ知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ事件急迫ニシテ其ノ許可ヲ受クルノ邊ナキトキハ出張ト同時ニ其ノ事由ヲ知事ニ開申スヘシ
- 第四條 郡役所ヲ經由スヘキ文書ニシテ別ニ意見ヲ付スルノ必要ナキモノハ別段ノ規定アルモノヲ除ク外其ノ欄外ニ「何月何日進達」ト記載シ郡長ノ職印ヲ捺捺シテ之ヲ發送スヘシ
- 第五條 郡長ハ廳中處務ノ細則ヲ制定シ知事ニ報告スヘシ

郡役所 町村役場

○訓令第六號(四十年二月二十七日)  
 明治二十五年七月訓令第五百五號町村吏員諸給與規程準則左ノ通改正ス  
 町村長ハ本年三月三十一日マテニ本則ヲ標準トシ町村會ノ議決ヲ經テ町村吏員諸給與規程ヲ設定シ郡長ノ認可ヲ受ケ施行スヘシ

町村吏員諸給與規程準則

- 第一條 町村吏員ノ諸給與額並其ノ支給方法ハ別ニ定ムルモノヲ除ク外本規程ニ依ル
- 第二條 本規程ニ於テ旅費、文具料及賄料ト稱スルハ各其ノ實費辨償ヲ包含ス
- 第三條 旅費ハ別表ニ依リ之ヲ給與ス
- 第四條 文具料ハ一ヶ月何錢賄料ハ一度何錢ヲ支給ス
- 第五條 年額報酬ハ月割トシテ支給ス但シ其ノ少額ナルモノハ一回又ハ數回ニ支給スルコトヲ得
- 第五條 給料、報酬月額、報酬月割額及文具料ハ其ノ月廿二日ニ於テ日給ハ出勤日數ニ應シ賄料ハ其ノ度數ニ應シ其ノ月分ヲ翌月一日ニ於テ支給ス
- 前項ノ支給期日休暇日ニ當ルモハ順延トス
- 十二月分ノ日給及賄料ハ其ノ月廿八日ニ於テ其ノ當日マテノ分ヲ支給ス但シ休暇日ニ當ルモハ順次繰上ク
- 第六條 給料報酬及文具料ノ支給ハ新任ノモハ就職ノ日ヨリ其ノ支給額ニ異動ヲ生シ又ハ轉職シタルモハ發令ノ翌日ヨリ計算ス
- 第七條 退職、解職又ハ死亡シタルモハ給料及報酬ノ月額並文具料ハ其ノ月十五日ノ前後ニ依リ區分シ十五日以前ナルモハ當月分ノ半額ヲ十六日以後ナルトキハ全額ヲ日給ハ出勤日

數ニ應シ月割トセサル年額報酬ハ月割ヲ以テ計算シ月額支給ノ例ニ依リ何レモ其ノ際支給ス

其ノ職ヲ停止セラレタルハ給料又ハ報酬ハ日割ニ依リ支給ス其ノ復職シタルハ又同シ

第八條 町村長、助役、收入役及附屬員ニシテ給料又ハ報酬ヲ受クル者在職中死亡シタルハ其ノ二ヶ月分ニ相當スル金額ヲ左ノ順位ニ依リ同一戸籍内ニ在ル其ノ遺族ニ給ス

一 寡婦

二 子

三 孫

四 父母

五 祖父母

子及孫ハ家督相續人ニ給シ戸主ニ非サル者ノ子又ハ孫ニ在リテハ男ヲ先キニシ男又ハ女ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第九條 第八條ニ掲グル吏員在職滿一年以上ニシテ退職又ハ解職シタル者ニハ退職現時ノ給料又ハ報酬半ヶ月ニ相當スル額ヲ以テ在職年數ノ一ヶ年ニ當テ其ノ年數ニ應スル金額ヲ一時ニ支給ス

退職料ヲ受クル者並年齢六十歳未滿ノ者自己ノ便宜ニ依リ退職シ若ハ町村制第九條第二項同第百二十八條第一項第三號ニ該當シ解職セラレタル者ニハ前項ノ給與金ヲ支給セス但シ町村制第九條第二項ニ該當シ解職セラレタル者ノ中公權剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲メ解職セラレタル者ニシテ後ニ免訴若ハ無罪ノ言渡アリタル場合又ハ有罪ノ宣告アルモ禁錮以上ノ刑ニ該ラサル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ吏員在職年數ハ互ニ之ヲ通算シ町村制實施ノ日ヨリ起算ス但シ本規程施行前ニ於テ又ハ本條ニ依リ給與金ヲ受ケタル者再就職シ爾後退職シタルハ再就職ノ日ヨリ起算ス  
第十條 執務セサルコト引續キ三十日ヲ踰ルトキハ其ノ間給料又ハ報酬ノ半額ヲ減ス爾後引續キ六十日ヲ過クルハ全ク其ノ支給ヲ止ム但シ忌服ヲ受ケ又ハ公務ノ爲メ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
文具料ハ全ク執務セサル月ハ之ヲ支給セス

第十一條 給料、報酬及文具料ノ日割給與ノ算定上錢位未滿ノ端數ヲ生スルハ之ヲ切捨トス

第十二條 日割計算ノ法ハ其ノ月ノ現日數ニ依ル

第十三條 強雨積雪又ハ道路險惡若ハ急行ヲ要スル爲メ定額車馬賃ニテ支辨シ難キ場合ハ實費ヲ支給スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ正當領收證ヲ添ヘ町(村)長ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 水路旅行ニハ宿泊料ヲ陸路六里未滿汽車十哩未滿水路十海里未滿ノ旅行ニハ日常ヲ支給セス但シ陸路旅行ニ就テハ公務ノ都合ニ依リ特ニ宿泊シタルハ此ノ限ニ在ラス  
日額旅費ハ往復一里以上ノ旅行ニ限リ之ヲ支給シ其ノ旅行ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條 汽車賃、船賃、車馬賃ハ旅行ノ種類毎ニ經過セシ路程ヲ合算シテ之ヲ支給ス但シ一位未滿ノ端數ハ切捨トス

第十六條 年度若ハ日ニ依リ旅費ヲ區分シテ計算スルノ必要アル場合ニ於テ汽車旅行若ハ水路旅行ニシテ其ノ區分判明ナラサルトキハ最近ノ到著地ニ著シタル日ヲ以テ其ノ路程ヲ區分シ計算ス

數ニ應シ月割トセサル年額報酬ハ月割ヲ以テ計算シ月額支給ノ例ニ依リ何レモ其ノ際支給ス

其ノ職ヲ停止セラレタルハ給料又ハ報酬ハ日割ニ依リ支給ス其ノ復職シタルハ又同シ

第八條 町村長、助役、收入役及附屬員ニシテ給料又ハ報酬ヲ受クル者在職中死亡シタルハ其ノ二ヶ月分ニ相當スル金額ヲ左ノ順位ニ依リ同一戸籍内ニ在ル其ノ遺族ニ給ス

一 寡婦

二 子

三 孫

四 父母

五 祖父母

子及孫ハ家督相續人ニ給シ戸主ニ非サル者ノ子又ハ孫ニ在リテハ男ヲ先キニシ男又ハ女ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第九條 第八條ニ掲グル吏員在職滿一年以上ニシテ退職又ハ解職シタル者ニハ退職現時ノ給料又ハ報酬半ヶ月ニ相當スル額ヲ以テ在職年數ノ一ケ年ニ當テ其ノ年數ニ應スル金額ヲ一時ニ支給ス

退職料ヲ受クル者並年齢六十歳未滿ノ者自己ノ便宜ニ依リ退職シ若ハ町村制第九條第二項同第二百二十八條第一項第三號ニ該當シ解職セラレタル者ニハ前項ノ給與金ヲ支給セス但シ町村制第九條第二項ニ該當シ解職セラレタル者ノ中公權剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲メ解職セラレタル者ニシテ後ニ免訴若ハ無罪ノ言渡アリタル場合又ハ有罪ノ宣告アルモ禁錮以上ノ刑ニ該ラサル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ吏員在職年數ハ互ニ之ヲ通算シ町村制實施ノ日ヨリ起算ス但シ本規程施行前ニ於テ又ハ本條ニ依リ給與金ヲ受ケタル者再就職シ爾後退職シタルハ再就職ノ日ヨリ起算ス

第十條 執務セサルコト引續キ三十日ヲ踰ユルトキハ其ノ間給料又ハ報酬ノ半額ヲ減ス爾後引續キ六十日ヲ過クルハ全ク其ノ支給ヲ止ム但シ忌服ヲ受ケ又ハ公務ノ爲メ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

文具料ハ全ク執務セサル月ハ之ヲ支給セス

第十一條 給料、報酬及文具料ノ日割給與ノ算定上錢位未滿ノ端數ヲ生スルハ之ヲ切捨トス

第十二條 日割計算ノ法ハ其ノ月ノ現日數ニ依ル

第十三條 強雨積雪又ハ道路險惡若ハ急行ヲ要スル爲メ定額車馬賃ニテ支辨シ難キ場合ハ實費ヲ支給スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ正當領收證ヲ添ヘ町(村)長ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 水路旅行ニハ宿泊料ヲ陸路六里未滿汽車十哩未滿水路十海里未滿ノ旅行ニハ日當ヲ支給セス但シ陸路旅行ニ就テハ公務ノ都合ニ依リ特ニ宿泊シタルハ此ノ限ニ在ラス

日額旅費ハ往復一里以上ノ旅行ニ限り之ヲ支給シ其ノ旅行ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條 汽車賃、船賃、車馬賃ハ旅行ノ種類毎ニ經過セシ路程ヲ合算シテ之ヲ支給ス但シ一位未滿ノ端數ハ切捨トス

第十六條 年度若ハ日ニ依リ旅費ヲ區分シテ計算スルノ必要アル場合ニ於テ汽車旅行若ハ水路旅行ニシテ其ノ區分判明ナラサルトキハ最近ノ到着地ニ著シタル日ヲ以テ其ノ路程ヲ區分シ計算ス



第十七條 旅行中退職解職若ハ死亡ノ者ニハ旅行先ヨリ役場所在地マテ前職相當ノ旅費ヲ支給ス但シ犯罪ノ爲メ又ハ懲戒處分ニ依リ解職セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 公務ノ爲ニアラスシテ迂路ヲ通過スルコトアルモ順路ニ依リ旅費ヲ支給ス

第十九條 前二條ノ場合ニ於テ日數ノ計算方ハ汽車旅行ハ一日二百哩詰水路旅行ハ一日百海里詰陸路旅行ハ一口十二里詰トス但シ數種ノ旅行相跨ルトキハ各其ノ路程十二分ノ一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行ヲ十二時間トス但シ通算上ヨリ生スル一日未滿ノ端數ハ一日トシテ計算ス

第二十條 村外又ハ縣外ニ出張スル場合ニ於テ低額ノ支給ヲ受クヘキ場所ヲ通過スルトキハ其ノ多キニ從ヒ旅費ヲ支給ス

第二十一條 本規程ハ發布ノ日ヨリ施行ス

附 則  
別 表

何々	助役	町村長	馬車賃		汽車賃		船賃		海里		當一日		宿泊料		泊日		額一日	
			付	何錢	付	何錢	付	何錢	付	何錢	付	何錢	付	何錢	付	何錢	付	何錢
縣村	縣村	縣村	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外	外外
外外	外外	外外	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内

郡役所 町村役場

○訓令第五號(四十年二月二十七日)  
町村税賦課徵收方法準則左ノ通定ム  
町村長ハ本年三月三十一日マテニ本則ヲ標準トシ町村會ノ議決ヲ經テ町村税賦課徵收方法ヲ規定スヘシ

町村税賦課徵收方法準則

- 第一條 町村税ノ賦課徵收ハ別段ノ規定アルモノ、外本規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 町村税ノ賦課率ハ毎年度歳入豫算ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三條 賦課期日後ニ於テ納稅義務ノ消滅又ハ移轉シタル場合ト雖モ該期ノ賦課額ハ仍之ヲ徵收ス但シ義務承繼者ニ對シテハ其ノ期間内ハ賦課セス
- 第四條 地價割ハ之ヲ前後兩期ニ分チ賦課率ヲ二分シ其ノ年四月一日、十月一日現在地租額ニ依リ賦課シ前期ハ四月三十日後期ハ十月三十一日限リ徵收ス(地價割ハ其ノ年四月一日現在地租額ニ依リ全額ヲ一時ニ賦課シ其ノ月三十日限リ徵收ス)
- 第五條 營業割、戸別割、國稅營業稅割、所得稅割及礦業稅割ハ毎年度本町村ニ於テ納ムヘキ國稅又ハ縣稅ノ額ニ依リ本稅ト同時ニ賦課徵收ス(營業割、戸別割、國稅營業稅割、所得稅割及礦業稅割ハ毎年度本町村ニ於テ納ムヘキ國稅又ハ縣稅ノ額ニ依リ左ノ區分ニ依リ賦課徵收ス但シ隨時收入ニ付テハ本稅ト同時ニ賦課徵收ス)
  - 一 營業割
    - 前期何月何日限 後期何月何日限
    - 一何々
  - 前期何々 (後期何々)

以下倣之

第六條 反別割ハ地價割ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條 納稅管理入ノ申告、納稅ノ告知、及督促ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル  
附 則

第八條 本規程ハ明治四十年度ヨリ施行ス

郡役所 町村役場

○訓令第十九號(四十年五月二十二日)  
町村稅滯納ノ矯正ニ付テハ從來注意ヲ喚起スルコト一再ナラス稍其ノ事績ノ良好ナルモノア  
リト雖概シテ其ノ實効ヲ認ムルヲ得ス甚シキハ數千圓ノ滯納ヲ有シ其ノ財政ヲ紊亂シ事務ノ  
進捗ヲ阻害スル弊カラサルモノアリ其ノ町村活動ノ資料タル徵稅ノ圓滑ヲ欠クカ如キハ頗ル  
遺憾トスル所トス依テ左ノ方法ニ依リ縣下一齊ニ之カ整理ヲ斷行シ過年度ニ屬スルモノハ明  
治四十一年ヲ期シ全ク此ノ弊根ヲ杜絶セシムヘシ

過年度ニ屬スル滯納整理方法

一 町村長ハ六月一日ヲ期シ明治三十八年度以前ニ係ル一人別滯納調書ヲ作製シ納入ノ都度  
之ニ其ノ旨ヲ記入シ滯納整理ノ資ニ供スヘシ

但三十九年度分ヲ調査スル場合ハ本項ノ期日ヲ八月一日トシ更ニ調書ヲ添加スルモノト  
ス

二 町村長ハ前項滯納額ノ整理方法ヲ定メ別紙様式ノ調書ヲ添へ七月十日限り郡長ニ報告ス  
ヘシ

但卅九年度分ニ付テハ本項ノ期日ヲ九月十日トシ更ニ調書ノミ添加報告スルモノトス

三 整理方法中ニハ左ノ事項ヲ具備スルコトヲ要ス

- (一) 滯納整理專屬ノ吏員ヲ置クコト及其ノ定員
- (二) 滯納整理吏員ノ擔當事務又ハ受持方面
- (三) 滯納整理ノ豫定期間及其ノ期間中ニ於ケル毎月ノ整理行程見込
- (四) 滯納整理ニ關スル必要ナル事項

郡長ハ滯納整理方法ノ濶案ヲ定メ又ハ町村長ノ定メタル方法中不適當ト認ムル事項ノ

更正ヲ命スルコトヲ得

四町村長ハ滯納整理ノ遂行上吏員ノ増加又ハ特殊ノ費用ヲ要スト認ムルハ町村會ニ附議シテ追加豫算ヲ設定スルコトヲ得但濫設濫費ヲ避ケ努メテ既定豫算内ニ於テ執行スルノ方針ニ據ルヲ要ス

前號ノ豫算ニ關シテハ郡長ニ於テ豫メ其ノ發案ニ關シ稟請セシムルコトヲ得

五第一項ノ滯納調書完成シタルハ町村長ハ速ニ整理事務ニ著手シ其ノ旨ヲ郡長ニ報告スルコトヲ要ス

六町村長ハ滯納處分ニ著手スル前便宜ノ方法ニ依リ一般納稅義務者ニ督促狀ヲ發シタルモノト否トニ拘ハラズ速ニ納付スヘキ旨及納付ヲ遲滯スルハ滯納處分ヲ勵行スル旨ヲ注意豫告シ且區長ヲシテ當時區内ノ滯納者ニ注意ヲ與ヘ納付ヲ督促セシムヘシ

七滯納處分ヲ行ハントスルハ豫メ日割ヲ定メ可成敷日前之ヲ區長ニ通達シテ各納稅義務者ニ注意シ納付ヲ勸誘セシムヘシ

八前項ノ日割ニ至ルモ尙納入ヲ爲サハルモノアルトキハ財産差押ヲ執行スヘシ

財産ノ差押ハ可及的苛酷ニ失セサルヲ旨トスヘキハ勿論ナルモ納稅ニ對シ誠實ナラスト認ムル者ニ對シテハ法規ノ執行寛ニ失セサルヲ期スヘシ

九財産ノ差押ヲ執行シタルトキハ速ニ賣却執行ノ日時ヲ定メ法規上ノ手續ヲ履踐スルト共ニ可成區長ヲ經テ又ハ便宜ノ方法ニ依リ滯納者ニ該賣却執行當日午前納付ヲ爲ササルトキハ差押物件ヲ賣却セラルヘキコトヲ注意スヘシ

十町村長助役ハ役場吏員區長等ヲ督勵シ且隨時町村内ヲ巡視シテ滯納處分ノ執行ヲ監督シ區長及納稅者等ニ充分ノ注意ヲ與フヘシ

十一町村役場ニ於テ滯納金ヲ收入スルトキハ先其ノ年度ノ古キ分ヨリ納付セシムル方針ヲ取ルヘシ

十二郡長ハ隨時自ラ又ハ郡書記ヲ派遣シテ町村ニ於ケル滯納整理ノ事務ヲ督勵スヘシ

十三町村長ハ毎月ノ納入狀況ヲ別紙様式ニ依リ製表シ翌月七日限り郡長ニ報告スヘシ

十四郡長ハ第一項各町村ニ於ケル滯納整理方法ノ要領及各町村滯納額ヲ七月二十日(三十九日係ル分ハ九日)限り第十二項納入ノ狀況ヲ翌月十日限り別紙様式ニ依リ知事ニ報告スヘシ

十五納稅組合又ハ日掛月掛等ノ方法ニ依ル場合ト雖モ本規定ヲ準用ス

年度内滯納整理方法

一町村長ハ納期滿了後三十日ヲ期シ一人別滯納調書ヲ作製シ納入ノ都度之ニ其ノ旨ヲ記入シ滯納整理ノ資ニ供スヘシ

二年度内ノ滯納ハ遅クモ四月末日迄ニ必ス之ヲ整理シ五月一日現在在歳入狀況調ニ於テ尙殘存スルモノアル場合ニ於テハ郡長ハ吏員ヲ派シ又ハ自ラ出張シテ之ヲ整理セシムルモノトス

三年度内滯納整理方法ハ過年度ニ屬スル滯納整理方法ヲ準用ス但過年度滯納ナキ町村ニ於テハ整理方法ノ報告期限ハ二月一日トス

四町村長ハ別紙様式ニ依リ三月一日、四月一日現在ニ依リ製表シ同月七日限り郡長ヘ報告スヘシ

五右ノ外過年度ニ屬スル滯納整理方法中第三項乃至第十一及第十五項ヲ準用ス

町村歳入過年度滯納調

何月一日現在

年	度	地	價	割	戶	別	割	營	業	割	其	他	計
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

明治何年度	未徵收金額人員	未徵收金額人員	未徵收金額人員	未徵收金額人員	未徵收金額人員	未徵收金額人員
全何年度						
計						

備考 郡長ヨリ報告ノモノハ町村別一表ニ製シ郡計ヲ付スヘシ

四十一年十月三日訓令第三十一號ニテ削除アリ

○訓令第二十五號(四十年六月四日)  
 明治三十七年二月訓令第六號町村歳入歳出豫算表記載例備考左ノ通改正シ明治四十一年度分ヨリ施行ス

郡役所 町村役場

町村歳入歳出豫算表記載例備考

科	目	前年度	本年度	附記
第一款	財産ヨリ生ズル收入			
第一項	不動産收入			
一	地料			何反別何程一ヶ月料金何程何ヶ月分
二	小作米			田(畑)反別何程一反歩ニ付一ヶ年米何石此小作米何石一石ニ付金何程
三	下草其他産物拂代			某所下草何程何程ニ付金何程其他何々
四	貸家料			某所建家何棟一ヶ月金何程某所建家何棟一ヶ月金何程各一ヶ月分
五	藏敷料			某所土藏何棟一棟一ヶ月何程何ヶ月分
第二項	勸産收入			
一	預金利子			郵便貯金又ハ何銀行預金元金何程此利子年又ハ月何程一ヶ年分
二	貸金利子			貸付元金何程此利子年何割一ヶ年分金何程元金何程此利子月何歩何ヶ月分何程
三	公債利子			何公債證書額面何百圓何圓ニ付年何歩一ヶ年分
四	配當金			何株券何圓ニ對スル配當金何圓ニ付何程一ヶ年分

五貨	穀	利	子	貸付米穀何石一石ニ付利米何程此利米何石一石ニ付金何程此金何程
第二款	使用料及手数料			反別何程何程ニ付年(月)何程何年(何ヶ月)分(以下記載方之ニ做フ)
第一款	使用料			(診察料、入院料、食費、藥價、手術料ヲ記ス)
一	道路敷	使用料		
二	並木敷	使用料		
三	堤塘	使用料		
四	川敷	使用料		
五	病院	使用料		
六	墓地	使用料		
七	火葬場	使用料		
八	屠場	使用料		
九	種畜	使用料		
第二項	手数料			(證明、謄本、抄本、閱覽及照合手数料等ヲ記ス)
一	町村收入督促	手数料		(戸籍法ニ依リ徵收スル手数料ノミヲ記ス)
二	證明	手数料		
三	戸籍	手数料		
四	船員ニ關スル	手数料		
第三款	雜收入			
第一項	加入	入金		
第二項	渡船賃及橋梁賃			何川何所渡船賃 何川何橋分
第三項	物品賣拂	代錢		

一	道路並木枯損木拂代			何道路並木枯損木拂代 何堤竹木下草拂代 (試作物、不用物品、反古、古材木、糞尿拂等ヲ記ス)
二	堤塘產物拂代			
三	不用品拂代			
第四項	教育事務受托金			何町村又ハ何町村大字何々教育事務受托金
第五項	授業料			高等科何人一人ニ付一ヶ月何程何ヶ月分(以下記載方之ニ做フ)
一	小學校	授業料		
二	何學校	授業料		
三	何講習所	授業料		
第六項	懲罰及賠償金			(傳染病院ニ於ケル食費及藥價ノ辨償金ヲ記ス)
一	食費及藥價	辨償金		
二	違約	金		
三	學費	辨償金		
四	滯納處分費	辨償金		
五	訴訟費用	辨償金		
六	出張入費	辨償金		
七	過怠	金		
八	科償	金		
九	賠償	金		
第七項	過年度收入			過年度町村稅何程過年度補助金何程過年度諸收入何程
一	過年度未徵收	金		
二	過年度誤拂返納	金		
第八項	割戻	金		

第四款 前年度繰越金	一割 前年度繰越金	何々組合解除割戻金
第五款 補助金	第一項 國庫補助金	
	二何々費補助金	
	第二項 縣補助金	
	一土木費補助金	
	二衛生費補助金	
	三勸業費補助金	
	四何々費補助金	
	第三項 郡補助金	
	一土木費補助金	
	二教育費補助金	
	三衛生費補助金	
	四勸業費補助金	
	五財產費補助金	
	六何々費補助金	
	第六款 寄附金	何道路開鑿費指定 何學校備品費指定
	一土木費寄附金	
	二教育費寄附金	
	三何々費寄附金	
	第七款 交付金	國稅徵收金何圓ノ百分ノ四 縣稅徵收金何圓ノ百分ノ四
	第一項 交付金	
	一國庫交付金	
	二縣稅交付金	

第八款 町村稅	第一項 直接國稅附加稅	本年度地租豫算高金何程地租壹圓ニ付金何程
	一 地價割	本年度所得稅豫算高金何程稅金一圓ニ付金何程
	二 所得稅割	本年度國稅營業稅豫算高金何程稅金一圓ニ付金何程
	三 營業稅割	本年度礦業稅豫算高金何程稅金一圓ニ付金何程
	四 鑛業稅割	本年度縣稅戶數割豫算高金何程稅金一圓ニ付何程戶數何程一戸平均金何程
	第二項 直接縣稅附加稅	本年度縣稅營業稅及雜種稅豫算高金何程稅金一圓ニ付金何程
	一 戶別割	本年度何々反別豫算高何程一反歩ニ付何程
	二 營業別割	本年度筆數何程一筆ニ付金何程
	第三項 特別稅割	(組合費ニ限ル)
	一反別割	
	二 筆數割	
	三 何々割	
	第九款 組合費分賦額	何事業賦課夫役何人分換算金一人ニ付金何程
	一 何町分賦額	
	二 何村分賦額	
	第十款 夫役及代納金	何事業賦課夫役何人ノ内何人分代納金一人ニ付金何程
	第一項 夫役及代納金	
	一 夫役	
	二 夫役代納金	

科	目	豫算年度		附記
		前	本	
第一款 役場(事務管理)費 第一項 給料	一 町村長 給料			年給何程(月給何圓一ケ年分)(以下記載方之ニ做フ)
	二 助役 給料			何人一人月給平均金何程各一ケ年分
	三 收入 役給料			何人一人月給平均金何程各一ケ年分(雇何人一人月給平均金何程各一ケ年分)
	四 書記 給料			日給何程何百口分一人一日ニ付何程)
	五 附屬員 給料			何人月給平均何程一ケ年分
	六 使丁 給料			年額何程(月額何圓一ケ年分)
	第二項 雜給料			
	一 町村長(管理者)報酬			
	二 助役 報酬			
	三 區長 報酬			
	四 委員 報酬			
	五 旅費			
	六 文具 料費			
七 賄費				
八 實費 辨償費				
九 諸給與				
十 備用人 料				
第三項 需用費				
一 備用品 費				
二 消耗品 費				
三 印刷費				
四 通信運搬費				
五 滯納處分費				
六 訴訟費				

科	目	前	本	附記
第一款 基本財産繰入	一 基本財産繰入			
	二 基本財産繰入			
	三 基本財産繰入			
	四 基本財産繰入			
	五 基本財産繰入			
	六 基本財産繰入			
	七 基本財産繰入			
	八 基本財産繰入			
	九 基本財産繰入			
	十 基本財産繰入			
	十一 基本財産繰入			
	十二 基本財産繰入			
	十三 基本財産繰入			
第十四 基本財産繰入				
第十五 基本財産繰入				
第十六 基本財産繰入				
第十七 基本財産繰入				
第十八 基本財産繰入				
第十九 基本財産繰入				
第二十 基本財産繰入				
第二十一 基本財産繰入				
第二十二 基本財産繰入				
第二十三 基本財産繰入				
第二十四 基本財産繰入				
第二十五 基本財産繰入				
第二十六 基本財産繰入				
第二十七 基本財産繰入				
第二十八 基本財産繰入				
第二十九 基本財産繰入				
第三十 基本財産繰入				
第三十一 基本財産繰入				
第三十二 基本財産繰入				
第三十三 基本財産繰入				
第三十四 基本財産繰入				
第三十五 基本財産繰入				
第三十六 基本財産繰入				
第三十七 基本財産繰入				
第三十八 基本財産繰入				
第三十九 基本財産繰入				
第四十 基本財産繰入				
第四十一 基本財産繰入				
第四十二 基本財産繰入				
第四十三 基本財産繰入				
第四十四 基本財産繰入				
第四十五 基本財産繰入				
第四十六 基本財産繰入				
第四十七 基本財産繰入				
第四十八 基本財産繰入				
第四十九 基本財産繰入				
第五十 基本財産繰入				
第五十一 基本財産繰入				
第五十二 基本財産繰入				
第五十三 基本財産繰入				
第五十四 基本財産繰入				
第五十五 基本財産繰入				
第五十六 基本財産繰入				
第五十七 基本財産繰入				
第五十八 基本財産繰入				
第五十九 基本財産繰入				
第六十 基本財産繰入				
第六十一 基本財産繰入				
第六十二 基本財産繰入				
第六十三 基本財産繰入				
第六十四 基本財産繰入				
第六十五 基本財産繰入				
第六十六 基本財産繰入				
第六十七 基本財産繰入				
第六十八 基本財産繰入				
第六十九 基本財産繰入				
第七十 基本財産繰入				
第七十一 基本財産繰入				
第七十二 基本財産繰入				
第七十三 基本財産繰入				
第七十四 基本財産繰入				
第七十五 基本財産繰入				
第七十六 基本財産繰入				
第七十七 基本財産繰入				
第七十八 基本財産繰入				
第七十九 基本財産繰入				
第八十 基本財産繰入				
第八十一 基本財産繰入				
第八十二 基本財産繰入				
第八十三 基本財産繰入				
第八十四 基本財産繰入				
第八十五 基本財産繰入				
第八十六 基本財産繰入				
第八十七 基本財産繰入				
第八十八 基本財産繰入				
第八十九 基本財産繰入				
第九十 基本財産繰入				
第九十一 基本財産繰入				
第九十二 基本財産繰入				
第九十三 基本財産繰入				
第九十四 基本財産繰入				
第九十五 基本財産繰入				
第九十六 基本財産繰入				
第九十七 基本財産繰入				
第九十八 基本財産繰入				
第九十九 基本財産繰入				
第一百 基本財産繰入				

地方制度

七雜	役場借地料一ヶ月何程一ヶ年分借家料 全上其他諸費何程
第四項 修繕費	役場修繕費何程
第一款 會議	議員何人一人日額金何程何日分 書記給料何程使了給料何程
第二項 雜費	議員何人一人日額金何程何日分 諸費何程
一給	議員何人一人日額金何程何日分
二給	議員何人一人日額金何程何日分
第三項 需用	議員何人一人日額金何程何日分
一備用品	議員何人一人日額金何程何日分
二消耗品	議員何人一人日額金何程何日分
三印刷	議員何人一人日額金何程何日分
四通信	議員何人一人日額金何程何日分
五雜費	議員何人一人日額金何程何日分
第三項 修繕費	議事堂修繕費
第一款 土木	議事堂修繕費
第一項 道路橋梁	何道路金何程
一道路	何道路金何程
二橋梁	何橋金何程
三道路掃除	何道路金何程
四雜費	(並木植栽、街燈、標柱、渡船ニ關スル費用ヲ記ス)
第二項 治水堤防費	何川金何程、何堤防金何程
第三項 用惡水費	何川金何程、何堤防金何程

一用惡水路修繕費	(溜池、用惡水路、樋管、堰埭ノ修繕ニ關スル費用ヲ記ス)
第四項 港灣修繕費	點燈費何程看守人月給何程一ヶ年分此金何程、修繕費何程
二燈臺	點燈費何程看守人月給何程一ヶ年分此金何程、修繕費何程
第五項 測量費	人夫賃何程、器械費何程、製圖費何程、運搬費何程、雜費何程
第四款 教育費	尋常小學校、尋常高等小學校、高等小學校、農業學校、商業學校、工業學校等ノ區別ニ依ル
第一項 何學校費	尋常小學校、尋常高等小學校、高等小學校、農業學校、商業學校、工業學校等ノ區別ニ依ル
一教員給料	正教員何人一人月俸平均何程各一ヶ年分此金何程(准教員代用教員皆之ニ做ス)
二使丁給料	正教員何人一人一ヶ月何程各一ヶ年分ニ做ス
三校醫手當	正教員何人一人一ヶ月何程各一ヶ年分ニ做ス
四教員旅費	正教員旅費何程(准教員代用教員皆之ニ做ス)
五文具料	教員何人一人一ヶ月何程各一ヶ年分
六賄費	教員宿直賄料一夜ニ付何程何夜分此金何程、使了宿直賄料一夜ニ付何程何夜分此金何程
七諸給與	(教員特別勉勵賞與死亡給與金ヲ記ス)
八住宅料	教員何人一人一ヶ月金何程各一ヶ年分
九傭人料	教員何人一人一ヶ月金何程各一ヶ年分
十教員恩給基金	正教員俸給年額何程同加俸年額何程ノ百分ノ一







二學校基本財產進成費	第二項 管理費	二學校基本財產管理費	第十四款 雜支	一過年度未拂支出金	二過年度過誤納還付金	第二項 墓地及火葬場費	一管	第三項 雜出	一火災保險料	二滞納者財產買上費	三何々	第十五款 豫備費	第一項 豫備費	合計	臨時部
購人費何程、植林費何程															
建物修繕費何程、山林管理費何程															
役場費何程何々															
(管理人給修繕費等ヲ記ス)															
何學校保險料何程何々															
何々建築費															
議事堂建築費															

第三款 土木	第一項 道路橋梁費	二橋梁架設費	第二項 治水堤防費	一河川改修費	第三項 用惡水路新設費	第四款 教育	第一項 何小學校費	一建築費	二建築費蓄積金	第五款 衛生	第一項 傳染病院建築費	二火葬場新設費	第六款 寄附金	第一項 寄附金	一縣土木費寄附	二郡土木費寄附	三何々費寄附	第七款 補助費	第一項 補助費	一教育會補助費	二教員研究會補助費	三教育視察會補助費	四教員講習會出會補助費	五教育獎勵會補助費	

	六生徒修學旅行補助費		
	七衛生組合補助費		
	八農會補助費		
	九耕地整理補助費		
	十養蠶組合補助費		
	十一茶業組合補助費		
	十二桑園品評會補助費		
	十三產牛馬組合補助費		
	十四仔馬品評會補助費		
	十五候補種馬飼育補助費		
	十六漁業組合補助費		
	十七何々補助費		
第八款	雜支		
第一項	缺損補填金		
二何々	缺損補填金		
合計			
總計			

國稅何程、縣稅何程其他何々  
(町村歳入ニ限ル)

町村長氏 名(自署)

- 備考 年月 日提出
- 一 前年度ニ於テ豫算アルモ本年度ニ於テ當該ノ豫算ナキモノハ本例ニ倣ヒ相當ノ位置ニ編成シ其ノ目(項)(款)ノ順序數ヲ省クヘシ
  - 一 更正豫算ニ於テハ前年度豫算額ヲ現豫算額ト改メ本年度豫算額ヲ更正豫算額ト改メ本例ニ依ルヘシ
  - 一 追加豫算ニ於テハ前年度豫算額ヲ現豫算額ト本年度豫算額ヲ追加豫算額ト改メ本例ニ依ルヘシ

○告示第七十九號(四十二年三月十三日)

水利組合條例ニ依リ左ノ通り水害豫防組合ヲ設置ス

- 一 區域 宮崎郡生目村大字富吉
- 一 管理者 宮崎郡生目村長

○訓令第十七號(四十一年六月十六日)

郡役所 町村役場

町村長ニ於テ町村會ニ對シ三年以内ノ公債ヲ起スノ議案ヲ提出セントスルトキハ其起債ヲ爲スヘキ詳細ノ事由、起債額、利率及募集並償還ノ方法ヲ詳具シ郡長ヲ經テ豫メ知事ノ認可ヲ經ヘシ其起債額若シハ利率ヲ増加シ又ハ償還方法ヲ變更スルノ議案ヲ提出セントスルモ亦同シ但シ教育資金ヨリ貸付ヲ受クル場合ニ於テハ此限ニ在ラス

明治三十六年八月訓令第五十四號ハ廢止ス

○訓令第二十二號(四十一年七月二十八日)

郡役所 町村役場

郡町村ノ公債ニ關シ左記事項ニ限リ許可ヲ要セス自今右等ノ事實アリタルトキハ變更議決書並償還年次表ヲ添ヘ郡役所及當廳ヲ經テ其ノ旨速ニ内務大藏兩大臣ヘ報告スヘシ  
本令ハ水利組合債ニ關シ之ヲ準用ス

- 一、利率ヲ低減シ又ハ減額借入ヲ爲シタル爲所定ノ年限ヲ短縮スルコト
  - 二、既定ノ償還年額ヲ増加シ又ハ所定ノ年限ヲ短縮スルコト
  - 三、低利債ニ借替(外資ニ依ルモノヲ除ク)ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ償還年限既定ノ年限ヲ超越セサルモノ
- 但右ノ場合ニ於テハ豫メ償還年額ヲ増加シ所定ノ年限ヲ短縮シ又ハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘキコトヲ議決記入シ許可ヲ經タルモノニ限ル

科	目	本年度		前年度	比較		附記
		預算額	豫算額		増	減	
第一款 組合	第一項 反別						<p>郡役所 町村役場 水利組合</p> <p>○訓令第三十一號(四十一年十) 明治四十一年八月内務省令第十三號第八條ニ依リ水利組合歳入歳出豫算ニ添付スヘキ豫算説明様式左ノ通り定ム</p> <p>明治四十年六月訓令第廿五號中「本訓令ハ水利組合ノ豫算ニ關シ之ヲ準用ス」ノ十九字ヲ削除ス</p> <p>明治何年度某郡某町村某 <small>普通水利組合 水害豫防組合</small> 歳入豫算説明</p> <p>歳入</p> <p>本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ金何圓ヲ(増)(減)ス其ノ理由ハ概テ何々ニ由ル</p> <p>第一款 組合 費</p> <p>本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ金何圓ヲ(増)(減)ス其ノ理由ハ何々ニ由ル</p> <p>第二款 何々</p> <p>本年度云々</p>
	第一目 反別						
	第二項 地價						
	第一目 地價						
	第三項 家屋						<p>●地租額地價百分ノニケ半何程地租壹圓ニ付金何程</p> <p>●家屋坪數(棟數)何程一坪(一棟)ニ付金何程</p>
	第一目 家屋						
	第四項 何々						





第一目	何々																			
第七款	前年度繰越金																			
第一項	前年度繰越金																			
第八款	補助金																			
第一項	國庫補助金																			
第二項	某費補助金																			
第三項	某費補助金																			
第九款	寄附金																			
第一項	某費寄附金																			
第十款	組合債																			
第一項	組合債																			
第十一款	積立基金繰入																			
第一項	積立基金繰入																			
第十二款	某費積立																			
第一項	不動產買拂代																			
第二目	立竹木買拂代																			
第三目	地所賣拂代																			
第二項	何々賣拂代																			
第二項	動產賣拂代																			

第一目	雜品賣拂代																			
第二目	公債證書賣拂代																			
第十三款	何々																			
第一項	何々																			
歲入總計	何々																			
<p>明治何年度某郡某町村某 <small>普通水利組合 小密豫防組合</small> 歳出豫算説明</p> <p>歳出經常ニ關スル部</p> <p>本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ金何圓ヲ(増)(減)ス其ノ理由ハ概ネ何々ニ由ル</p> <p>第一款 管理費</p> <p>本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ金何圓ヲ(増)(減)ス其ノ理由何々ニ由ル</p> <p>第二款 何々</p> <p>本年度云々</p> <p>歳出臨時ニ關スル部</p> <p>本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ金何圓ヲ(増)(減)ス其ノ理由ハ概ネ何々ニ由ル</p> <p>第一款 事業費</p> <p>本年度云々</p> <p>第二款 何々</p> <p>本年度云々</p>																				
科	歳出經常部																			
目																				
	本年度前年度	比	較	附	記															
	豫算額	豫算額	増	減																

第一項 管理費	第一款 給料	第一目 書記給	第二目 技術員給	第三目 雜給
	第一目 書記給	第二目 技術員給	第三目 雜給	第二項 雜給
第一目 旅費	第二目 文具料	第三目 賄料		
	第一目 旅費	第二目 文具料	第三目 賄料	
○書記 陸路何里一里二付金何程 日當何日一泊二付金何程 宿泊數何泊一泊二付金何程 ○技術員 陸路何里一里二付金何程 日當何日一泊二付金何程 宿泊數何泊一泊二付金何程 ○陸路 陸路何里一里二付金何程 日當何日一泊二付金何程 宿泊數何泊一泊二付金何程 ○有給吏員何人一人一夕月金何程各一夕年分 ○有給吏員賄料何夜一夜二付金何程 ○管理者旅費 陸路何里一里二付金何程 日當何日一泊二付金何程 宿泊數何泊一泊二付金何程 ○町村長旅費 陸路何里一里二付金何程 日當何日一泊二付金何程 宿泊數何泊一泊二付金何程 ○旅費 陸路何里一里二付金何程 日當何日一泊二付金何程 宿泊數何泊一泊二付金何程 ○手當 何人各何日一日金何程 ○文具料 管理者、郡書記、收入役、委員何人一人一夕月金何程各一夕年分 ○夜勤賄料 管理、郡書記、收入役、委員何夜一夜二付金何程 ○勉勵賞與、退職料、退職給與 金、死亡給與金、遺族扶助料 ○用水係人給、堰係人給、山番給等才記				

第四目 費用辦償	第五目 諸給與	第六目 備人料	第三項 需用費	第二目 消耗品費	第三目 通信運搬費	第四目 雜費	第一目 何	第二項 會費	第一項 會費
	第五目 諸給與	第六目 備人料	第三項 需用費	第二目 消耗品費	第三目 通信運搬費	第四目 雜費	第一目 何	第二項 會費	第一項 會費
○委員旅費手當 陸路何里一里二付金何程 日當何日一泊二付金何程 宿泊數何泊一泊二付金何程 ○手當 何人各何日一日金何程 ○文具料 管理、郡書記、收入役、委員何人一人一夕月金何程各一夕年分 ○夜勤賄料 管理、郡書記、收入役、委員何夜一夜二付金何程 ○勉勵賞與、退職料、退職給與 金、死亡給與金、遺族扶助料 ○用水係人給、堰係人給、山番給等才記 ○筆紙墨文具費 ○薪炭油費 ○郵便電信費 ○運搬費 ○議員旅費(組合員總會準之)									



第二項 利子		第一目 本年度利子
第三項 雜費		第一目 雜費
第四項 補助費		第一目 某費補助
第五項 附寄金		第一目 縣某費附寄
		第二目 郡某費附寄
		第三項 同々寄附
		第一目 同々寄附
第六項 雜支		第一目 損失補償
		第一目 土地使償
		第二目 何々缺損金
		第三項 何々缺損金
		第一目 何々缺損金
		第二項 何々缺損金
		第一目 何々缺損金
		第七項 何々
		第一項 何々

●何年月日募集元金何程ニ對スル  
 子何月ヨリ何月ニ至ル何ケ月分此  
 金何程ヨリ何月ニ至ル何ケ月分此  
 子何月ヨリ何月ニ至ル何ケ月分此  
 金何程ヨリ何月ニ至ル何ケ月分此

第一項 過年度支出		第一目 過年度支出
第二項 納還金		第一目 納還金
第十一項 豫備費		第一目 豫備費
歲出經常部合計		第一目 歲出經常部合計
第一項 事業費		第一目 用水路新設費
		第二目 用水路新設費
		第三目 用水路新設費
第二項 堤防新設費		第一目 堤防新設費
		第二目 堤防新設費
第三項 何々		第一目 何々
		第二目 何々
		第三目 何々
第二款 某費本年度支出額		第一目 某費本年度支出額
		第二目 某費本年度支出額
第三款 組合金償還		第一目 組合金償還
第一項 本年度償還額		第一目 本年度償還額

●役場費何程何費何程  
 ●反別割何程何々何程

●何年月日募集元金何程ノ内何程何  
 ノ内何程

第一目何々						
歳出臨時部合計						
歳出總計						

備考

- 一、前年度ニ於テ豫算アルモ本年度ニ於テ該當ノ豫算ナキモノハ本例ニ倣ヒ相當ノ位置ニ編成シ其ノ目(項)(款)ノ順序數ヲ省クヘシ
- 一、更正豫算ニ於テハ本年度豫算額ヲ更正豫算額トシ前年年豫算額ヲ現豫算額ト改メ本例ニ依ルヘシ但比較増減ハ記入ヲ要セス
- 一、追加豫算ニ於テハ本年度豫算額トシ前年度豫算額ヲ追加豫算額ト改メ比較増減ヲ計ニ改ム
- 一、創立諸費ヲ組合費ヨリ支出スルノ必要アル場合ニ於テハ別ニ一款ヲ設ケテ整理スヘシ

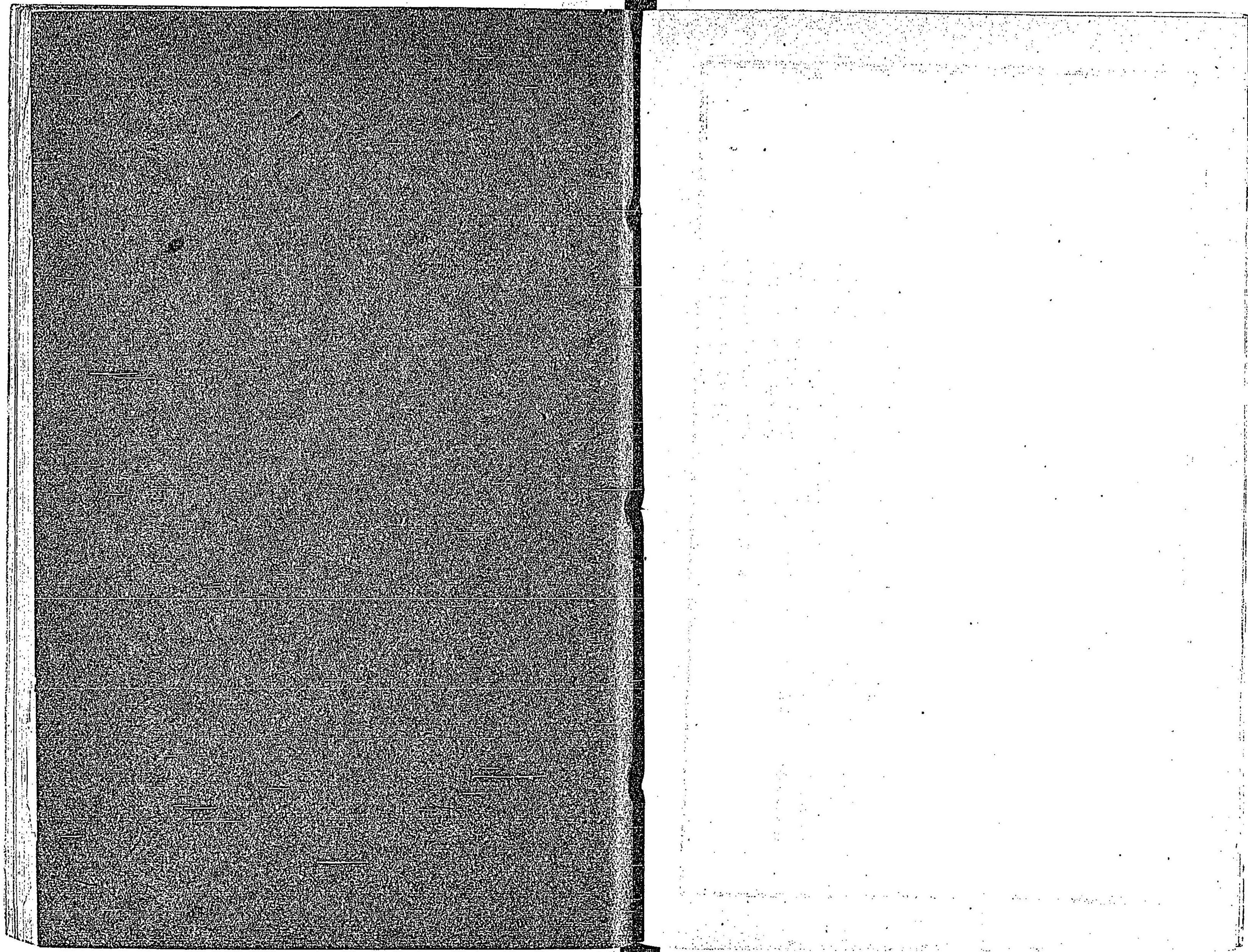
郡役所 町村役場

○訓令第二十三號(四十二年四月九日)  
 町村債ニシテ教育資金ヨリ借入ル、モノハ自今明治三十五年訓令第二十一號ニ依ル報告ヲ要セズ但償還ノ場合ニ於テハ従前ノ例ニ依リ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

○告示第二百七十六號(四十二年十月五日)

水利組合法ニ依リ左ノ通り普通水利組合ヲ設置ス

- 一名稱 濱ノ瀬普通水利組合
- 一區域 西臼杵郡上野村大字上野字町之、平比羅底平、雲井都、同村大字下野字雲井都、泥ヶ淵、中津、塚野、山ノ脇、川久保、北平、辻、佛房、赤石、坂ノ下、杉尾羽根折原
- 一名稱 神ノ水普通水利組合
- 一區域 西臼杵郡上野村大字上野字關ノ平、横野平、橋口平、尾向平、冬野平、鶴波原平、柚木野平、岩坪平、廻ノ平、持原平、神ノ水平、笛原平、龍石平



目録

土木

- 一 警察監獄諸新築修繕仕様目論見帳及出来形精算帳書式
- 一 道路ノ傍側樹竹伐採切透ノ件
- 一 町村費ヲ以テ支辨スヘキ土木工事ニ付官吏ヲ派遣シタルトキ費用負擔方ノ件
- 一 道路及河川通行止ヲ要スルトキ榜示請求ノ件
- 一 河川溪谷沿岸地ノ樹竹倒損ノモノ處分方ノ件
- 一 道路ノ並木及堤塘道路用悪水路土居敷ニ屬スル枯損障害竹木伐採處分ノ件
- 一 道路ノ並木ヲ拂下ルトキ他ニ搬出方ノ件
- 一 水車設置出願ニ關スル件
- 一 河川調査ニ關シ土木監督署員ノ照會協議アルトキ取扱方ノ件
- 一 縣稅土木費ヲ以テ支辨スル事項
- 一 町村土木補助費規則
- 一 道路掃除規則
- 一 小破修繕及仕様方法ノ設計ニ異動ナキモノハ直ニ施行其他ハ經伺ノ上處分ノ件
- 一 渡船賃錢揭示書式
- 一 土木事業ノ爲メ與セシ潰地調書式ノ件
- 一 荷車取締規則第一條ノ指定地
- 一 道路往來止若クハ車止ノ場合郵便ノ遞送集配並ニ電報配達ニ就テノ件

十八年五月二十號	五	警察ノ部参照
十八年七月二十四號	七	警察ノ部参照
十八年九月十二號	九	警察ノ部参照
十九年一月九號	一	警察ノ部参照
十九年三月七號	二	警察ノ部参照
十九年五月五號	三	警察ノ部参照
十九年七月三號	四	警察ノ部参照
十九年九月一號	五	警察ノ部参照
二十一年一月二十九號	九	警察ノ部参照
二十一年三月二十七號	一〇	警察ノ部参照
二十一年五月二十五號	一一	警察ノ部参照
二十一年七月二十三號	一二	警察ノ部参照
二十一年九月二十一號	一三	警察ノ部参照
二十二年一月十九號	一四	警察ノ部参照
二十二年三月十七號	一五	警察ノ部参照
二十二年五月十五號	一六	警察ノ部参照
二十二年七月十三號	一七	警察ノ部参照
二十二年九月十一號	一八	警察ノ部参照
二十三年一月九號	一九	警察ノ部参照
二十三年三月七號	二〇	警察ノ部参照
二十三年五月五號	二一	警察ノ部参照
二十三年七月三號	二二	警察ノ部参照
二十三年九月一號	二三	警察ノ部参照
二十三年十一月二十九號	二四	警察ノ部参照
二十三年十二月二十九號	二五	警察ノ部参照
二十四年一月二十五號	二六	警察ノ部参照
二十四年二月二十五號	二七	警察ノ部参照
二十四年三月二十五號	二八	警察ノ部参照
二十四年四月二十五號	二九	警察ノ部参照
二十四年五月二十五號	三〇	警察ノ部参照
二十四年六月二十五號	三一	警察ノ部参照
二十四年七月二十五號	三二	警察ノ部参照
二十四年八月二十五號	三三	警察ノ部参照
二十四年九月二十五號	三四	警察ノ部参照
二十四年十月二十五號	三五	警察ノ部参照
二十四年十一月二十五號	三六	警察ノ部参照
二十四年十二月二十五號	三七	警察ノ部参照

土木





○丁第二十二號(十八年五月九日)

警察本署 警察署

諸新築修繕仕様目論見帳及全出來形精算帳書式別冊ノ通相定メ候條新築修繕等ヲ要シ候節ハ  
該書式ニ依リ調製可差出此旨相達候事

(別冊ハ畧ス)

土  
木

五

土

木

七

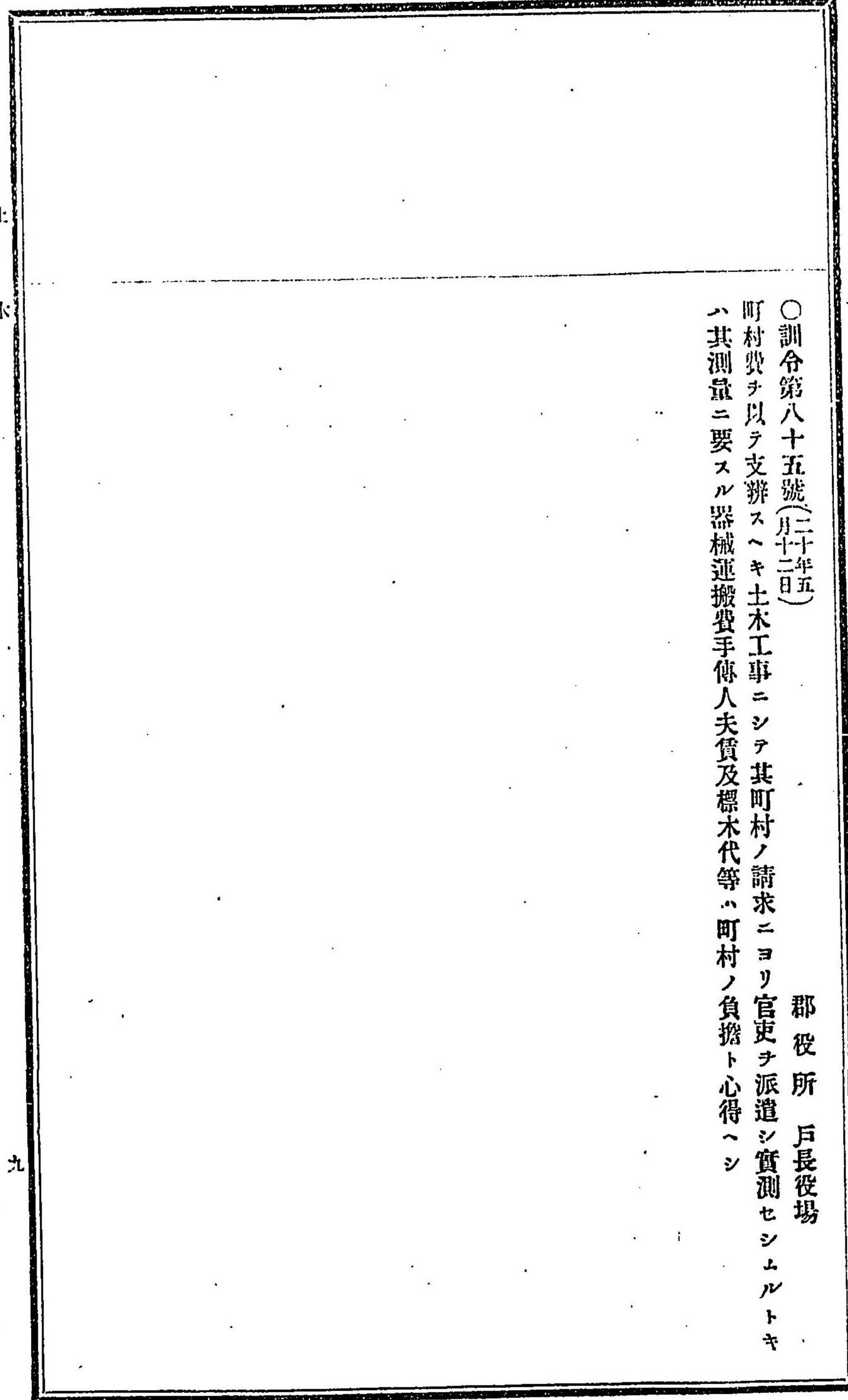
○乙第百七十四號(十八年十月五日)

郡役所 戸長役場

管内ノ道路タル概テ其傍側樹竹叢生枝葉密茂シ路上ニ糞出スルモノ多ク爲メニ風日ヲ蔽遮シ  
一回降雨アレハ數日乾燥ナラス且冬季ニ至テハ氷解霜融常ニ泥濘ニシテ行旅ノ困難運輸ノ不  
便尠カラス候條右等ノ箇所其民有ニ係ルモノハ所有者ニ於テ伐採又ハ切透サセ其官有ニ係ル  
モノハ擔當戸長ニ於テ其手續ヲナシ道路保護ノ途相立候様注意可致此旨相達候事

土

水



○訓令第八十五號(二十年五月十二日)  
町村費ヲ以テ支辨スヘキ土木工事ニシテ其町村ノ請求ニヨリ官吏ヲ派遣シ實測セシムルトキ  
ハ其測量ニ要スル器械運搬費手傳人夫賃及標木代等ハ町村ノ負擔ト心得ヘシ

郡役所 戸長役場

九

○訓令第四十六號(二十一年四月六日)

戸長役場

河川溪谷沿岸地ノ樹竹風雨其他ノ事故ニ據リ顛倒シ又ハ毀損シタルモノ降雨出水ノ爲メ流出  
スルトキハ提防ニ衝突シ橋梁ヲ毀損スル等ノ害秘カラズ自今篤ク注意シ其處アルモノハ左ノ  
手續ニ依リ速ニ取除ヲ請求シ又ハ取拂ヘシムヘシ

- 一、官林地ノ樹竹ハ所轄小林區署又ハ大林區署派出所ニ照會シ其處分ヲ求ムヘシ
- 一、官有地ニ係ルモノハ所轄郡役所ニ報告シ其ノ取除ヲ請フヘシ
- 一、民有地ノ樹竹ハ所有者ニ命シ取拂ハシムヘシ

土

木

○訓令第二百三十七號(二十四年十一月十三日)  
郡役所 町村役場  
地盤官有ニシテ其費用ヲ町村ニ於テ負擔スル道路ノ並木及堤塘道路用悪水路土居敷ニ屬スル  
枯損障害竹木ノ伐採ハ當廳ノ認可ヲ經テ其町村ニ於テ處分スヘシ

土  
木

○訓令第七十八號(二十五年五月四日) 郡役所 町村役場  
道路ノ並木ヲ拂下ルトキハ豫メ相當ノ期限ヲ定メ其期限内ニ必ス他へ搬出セシムヘシ

土

木

○訓令第八十八號(二十五年五月二十六日)  
水車ノ設置ヲ出願セントスル者アルトキハ水路關係人ノ承諾書ヲ添付セシメ尙故障ノ有無ヲ  
取調副申スヘシ

町村役場

土  
木



訓令第百十一號(二十五年八月六日)  
管内河川調査ニ關シ土木監督署員ヨリ郡役所町村役場等ニ照會若クハ協議アルトキハ便宜之  
ニ應シ調査ニ要スル一切ノ事項ニ付支障ナキ様取計フヘシ

郡役所 町村役場

土

木

○三十年三月十三日縣令第二十一號ヲ以テ追加改正制除  
 ○三十一年一月十三日縣令第二十二號ヲ以テ改正追加  
 ○三十三年一月十七日縣令第二十三號ニテ一項中追加

○宮崎縣令第二十四號(二十七年三月二十七日)

縣稅土木費ヲ以テ支辨スヘキ事項左ノ通定メ明治二十七年度ヨリ施行ス

一、道路橋梁ハ左ノ路線ニ限ル但他ノ線路ト雖トモ其適合ニ依リ一時縣稅ヨリ支辨スルコト

アルヘシ

- 一、宮崎ヨリ大分縣界ニ至ル國道線
- 一、宮崎ヨリ鹿兒島縣ニ至ル國道線
- 一、宮崎ヨリ細島ニ達スル線
- 一、高岡ヨリ小林ヲ經テ熊本縣界ニ達スル線
- 一、宮崎ヨリ餓肥ニ達スル線
- 一、延岡ヨリ三田井ニ達スル線
- 一、餓肥ヨリ油津ニ達スル線
- 一、餓肥ヨリ福島ヲ經テ鹿兒島縣界ニ達スル線
- 一、都城ヨリ小林ニ達スル線
- 一、宮崎ヨリ佐土原ニ達スル線
- 一、宮崎ヨリ本庄ニ達スル線
- 一、宮崎ヨリ折生迫ヲ經テ内海ニ達スル線
- 一、加久藤ヨリ鹿兒島縣界ニ達スル線
- 一、三田井ヨリ河内ヲ經テ熊本縣界ニ達スル線
- 一、都城ヨリ牛ノ峠ヲ經テ餓肥ニ達スル線
- 一、高岡ヨリ妻ヲ經テ名貫ニ達スル線(改正未済ノ)

- 一、本庄ヨリ綾ヲ經テ紙屋ニ達スル線(同上)
- 一、野尻ヨリ高原ヲ經テ鹿兒島縣界ニ達スル線(同上)
- 一、富高ヨリ山陰坪谷ヲ經テ桑弓野ニ達スル線(更正未済ノ部分ヲ除ク)
- 一、三田井ヨリ馬原見ニ達スル線
- 一、江平ヨリ宮崎宮ニ達スル線
- 一、宮崎ヨリ田野山ノ口ヲ經テ都城ニ達スル線(更正未済ノ部分ヲ除ク)
- 一、小林ヨリ須木ニ達スル線(更正未済ノ部分ヲ除ク)
- 一、佐土原ヨリ杉安、妻、村所ヲ經テ熊本縣界ニ達スル線(更正未済ノ部分ヲ除ク)
- 二、河川其他治水ニ係ルモノハ必要ニ從ヒ施行スルモノトス
- 三、港灣ハ左ノ各港ニ限ル
  - 一、細島港
  - 一、折生追港
  - 一、油津港
  - 一、外ノ浦港
  - 一、土々呂港
- 四、測量ハ前各項ノ區域ニ拘ハラズ其必要ニ從ヒ施行スルモノトス
- 五、里程標ハ前項ノ路線ニ拘ハラズ必要ニ從ヒ建設スルモノトス

○三十一年二月十五日縣令第八號ニテ改正追加  
三十三年五月五日縣令第三十八號ヲ以テ第二條中改正

○宮崎縣令第二十五號(二十七年三月二十七日)

町村土木補助費規則左ノ通定メ明治二十七年ヨリ施行ス

町村土木補助費規則

第一條 町村並公共組合土木工事ニシテ左ノ事項ニ係ルモノハ其費用ノ幾分ヲ縣稅ヨリ補助スルコトアルヘシ

- 一、道路橋梁
- 一、河川堤防護岸及舟路
- 一、海岸沙除
- 一、樋管堰埭用惡水路
- 一、港灣

第二條 縣稅ノ補助ヲ請ハントスル者ハ前年度七月十五日マテニ郡長ヲ經テ第一書式ノ申請書ヲ差出スヘシ其數年ヲ期シ施工スヘキモノハ其旨書面中ニ記載スヘシ

前項ノ期限内ニ申請セザルモノハ一切補助セザルモノトス但臨時非常ノ場合及道路橋梁修繕費ノ如キハ此限ニアラス

第三條 補助費豫算決定ノ上ハ更ニ第二書式ニ依リ別ニ定ムル期日內ニ郡長ヲ經テ稟申スヘシ其期日內稟申セザルモノハ非常ノ場合ヲ除クノ外一切補助セザルモノトス

第四條 縣稅ノ補助ヲ受ケタルトキハ第三書式ニ依リ請書差出シ事業竣成ノ上ハ直ニ届出出來形檢査ヲ受ケヘシ

第五條 前條出來形檢査済ノ上ハ第四號書式ニ依リ直ニ出來形精算帳ヲ調製シ郡長ヲ經テ差出スヘシ

第六條 補助費ハ左ノ制限ニ基キ本縣土木係員若クハ郡長ノ與書ニ依リ下附スルモノトス  
一、工事出來形ノ八歩ニ對スル補助額

但補助額ノ二步ハ工事竣成出來形検査濟ノ後之ヲ下附スルモノトス

第七條 第二條第三條ノ場合ニ於テハ郡長ハ事實ヲ調査シ意見ヲ具シ進達スヘシ

第八條 凡工事ノ許可ノ設計ニ違フモノハ更改セシメ其事ニ害アリト認ムルモノハ之ヲ取除

カシム

前項設計ニ違フタル工事及取除カシメタル工費ニ對シテハ其補助金ヲ下附セス又ハ減額返

納セシムルコトアルヘシ

第九條 縣稅ノ補助ヲ受ケタル工事該年度内ニ竣工セス其工事ヲ翌年度ニ繰越シタル場合ニ

於テハ該年度ニ於テ竣工セシ工事ニ對スル工費ニ限リ其歩合ヲ以テ其他ハ補助セサルモノ

トス

第一書式

土木費補助之義申請

何那何町村(何々組合等)

戶數何程 (全村ノ戶數ヲ記スヘシ)

(町村區域ト關係區域ヲ異ニスルトキハ其内譯ヲ記スヘシ)

地租金何程(前同斷)

(前同斷)

何々

(工事ノ場所種類等ヲ記スヘシ)

此工事豫算金何程

(繼年工事ナレハ外書ヲ以テ各年度ノ工事種類及工費額等ヲ列記スヘシ)

右何々ニ付來ル何年度(繼年工事ナレハ其旨)ニ於テ何々可致管ノ處工費多額ニシテ工事竣功

難途候間實地御検査ノ上相當ノ工費補助ノ御證議相成度別紙設計書並圖面(潰地調査潰地調査ニ

目ヲ記スヘシ)町(村)會決議書寫相添此段申請候也

何那何町(村)長 氏 名 印

(組合管理者ナルトキハ其片書スヘシ)

知 事 宛

第二書式

土木費補助之義上申

何那何町村(何々組合等)

何々

一何々(工事ノ場所種類等ヲ記スヘシ)

此工費豫算金何程

右客年何月何日付第何號ヲ以テ申請致置候通何年度ニ於テ施行致度候間起工ノ義御許可工費

ノ幾分御補助相成度別紙設計書並圖面(潰地調査潰地調査ニ

目ヲ記スヘシ)町(村)會決議書寫相添此

段上申候也

何那何町(村)長 氏 名 印

(組合管理者ナルトキハ其片書スヘシ)

(設計書類ハ申請書第一書式ニ添付ノモノニ異動ヲ生セサルトキハ其旨上申請書中ニ記載シ別ニ添付ヲ要セス)

第三書式

請書

一金何程

町村木土補助費

外金何程

町村費

右明治何年度何々工事中へ御補助相成候ニ付テハ左ノ件々御請致候

- 一、工事ハ何月何日ヨリ著手何月何日マテ(指令ノ期日ヲ記入スヘシ)ニ竣功可致候
- 一、工事ハ都テ許可ノ設計書ニ基キ經營可致ハ勿論萬一設計ニ違フ廉有之節ハ御指揮ニ從ヒ手直可仕候又止ムヲ得ス全部若シハ幾分ノ模稜替等ヲ爲スノ必要アルトキハ御許可ヲ得テ施行可致候若シ前件違背候節ハ補助費全額御引上相成候トモ苦シカラス候
- 一、工費精算ノ場合ニ於テ減費ヲ生スルトキハ其歩合ニ依リ御指揮ニ從ヒ補助費減額返納可致候

右請書差上置候也

明治何年何月何日

何郡何町(村)長 氏

名印

(組合管理者ナルトハ其片書スヘシ)

知事宛

第四書式

明治何年度何々工事出来形精算書

何郡何町村(何々組合等)

何年何月何日創工

何年何月何日竣功

字何々

一何々延長何間 若シクハ何ヶ所

(設計出来形トニ増減アレハ其差引ヲ記スヘシ)

一金何程 工費精算高(潰地代ノ如キモノ共)

但別紙明細書ノ通(明細書ハ設計ノ式ニ依リ調製スヘシ)

内譯

金何程

町村木土補助費

金何程

町村費

金何程

何々(特志金ノ類)

右之通出来形精算相違無之依テ別紙明細書 並ニ潰地調書)添及進達候也

明治何年何月何日

何郡何町(村)長 氏

名印

(組合管理者ナルハ其片書スヘシ)

知事宛

○三十一年八月九日縣令四十一號ニテ第二、三、四、七條中改正

○宮崎縣令第三十號(二十七年三月廿一日)

明治二十一年十月宮崎縣令第六十六號道路掃除規則左ノ通改正ス

道路掃除規則

第一條 凡ソ道路(明治二十年縣令第六十號街路取締規則ニ於テ市街ト稱スル場所ヲ除ク)豫メ其最寄町村ニ於テ掃除受持丁場ヲ定メ其兩端ニ左ノ錐形ノ標杭(一本ヲ以テ二本ニ代用スルヲ得ニ出シ兩面ニ式ノ)ナ建設スヘシ但里道ノ標柱ハ適宜ノ寸尺ヲ用フルコトヲ得如ク記載スヘシ

凡五寸角 地上五尺

從是東(組合アレ)掃除受持丁場  
北(何々組)南(何々組)西(何々組)東(何々組)

第二條 縣費支辨ニ屬スル道路ハ毎年二月、五月、八月、十一月、其他ノ道路ハ二月、八月ヲ以テ掃除ノ定期トス但風雨等ノ後ハ定期ニ拘ハラヌ掃除スヘシ

第三條 縣費支辨ニ屬スル線路ノ掃除ハ路面ノ雜草及障礙物ヲ取除ケ下水溝ノ浚渫ヲナスヘシ但其取除キタル雜草障礙物及溝浚土等ハ路面外ニ取捨又ハ燒却スヘシ

第四條 郡町村費支辨ニ屬スル路線ノ掃除ハ前條ノ外路面ノ凸凹ヲ平均シ中央ヲ高クシ路面ノ排水ヲ能クスヘシ

第五條 風雨等ノ後受持丁場内ノ道路橋梁ニ損所アルトキハ一時通行差支サル様相當ノ手當ヲナシ並木其他ノ倒木等アルトキハ速ニ取除ノ手續ヲナスヘシ

第六條 暴風雨等非常ノ節ハ掃除受持丁場内ハ勿論受持丁場外ト雖モ近傍相助ケ橋梁流亡等ノ虞アル場合ニ於テハ最モ注意防禦ニ從事スヘシ

第七條 縣費支辨ニ屬スル路線ノ掃除ヲ了シタルトキハ其郡度町村長ヨリ届出ヘシ

○訓令第七十二號(二十七年九月廿七日) 郡役所 警察署(宮崎警察署ヲ除ク) 警察分署監獄支署  
仕拂命令ヲ分任シタル應舎建築修繕費中特ニ本廳直轄施行ノモノヲ除クノ外豫算内ニ於ケル  
小破修繕及仕様方法ノ設計豫算ニ異動ナキモノハ直ニ其他ノ經伺ノ上處分シ小破修繕ノ外施  
行濟速ニ届出ヘシ但本廳直轄施行ノ箇所ハ仕拂命令分任ノ際相違ス

○宮崎縣令第五十七號(二十七年九月廿九日)  
 土木事業ノ爲メ要シタル潰地ハ其事業竣成ノ節左ノ書式ニ依リ潰地調書ヲ製シ(出來形精算書ヲ差出スヘキ者ハ之ニ添付シ差出スヘシ但明治廿二年十二月十二日宮崎縣令第七十九號ハ廢止ス)

何々潰地調書

何郡何町村

明治何年何月何日起工何月何日竣功

大字	字	地番	地種	地目	潰地 段別	地價	地租	買入 代金	分筆 月日	濟 登 記 有 無	元持主住所番戶氏名

合反別何程

何段別何程

何段別何程

右何々ノ爲メ潰地ニ相違無之(ニ付上地可致依テ官有地第三種へ編入相成度)(依テ民有地第二種ニ編入ノ積ニ有之)候也

年 月 日

何郡何町村長又ハ起業者族籍氏名印

(私費起工ノモノハ町村長與書調印スヘシ)  
 (官有地ニ係ルモノハ此例ニ準シ別紙ニ調製スヘシ)

土  
木



○告示第百十五號(二十八年十一月一日)

明治二十四年七月宮崎縣令第四十九號荷車取締規則第一條中指定地左ノ通

西臼杵郡

東臼杵郡北方村ノ内字瀬ノ瀬間(三十年十一月告示第百七十五號ニテ追加)

土  
木

○訓令第三百三十五號(明治二十九年十月二十二日) 郡役所 警察署 警察分署 町村役場  
道路往來止若クハ車止ノ場合ニ郵便ノ遞送及集配並ニ電報配達人ナシテ他ノ迂路ヲ取ラシム  
ル片ハ通信ノ遲達ヲ來スヘキニ付右等ノ場所ト雖モ危險又ハ撤橋等ノ事故ニ依リ全ク通過シ  
能ハサル場合ヲ除クノ外可成通過セシムル様取計フヘシ  
前項危險其他ノ事故ニヨリ通過セシムヘカラサル片ハ長五寸幅三寸ノ赤符ヲ通行止ノ榜示ニ貼付シ置  
キ其事故止ミタルトキハ直ニ撤去スヘシ

土  
木

○訓令第八十七號(明治三十年六月五日)

郡役所 町村役場

明治二十七年九月宮崎縣令第五十七號ニ依ル遺地調書ハ所轄稅務署ニ就キ土地臺帳ニ照合シ欄外ニ「年月日稅務署土地臺帳照合濟」ト記シ町村長ノ役印ヲ捺シ差出スヘシ  
私費起工ニ係ルモノハ町村長與書ノ節前項ノ手續ヲ爲スヘシ

土  
木

○三十二年十二月六日縣令  
八十八號ニテ第十三條改正  
○三十八年三月十五日縣令  
第十五號ニテ舊式中改正  
○三十八年十一月廿五日縣  
令四十八號ニテ三條中改正  
○四十一年十月十五日縣令  
第四百八號ニテ第十三條改正

○宮崎縣令第七十三號(三十三年八月二十一日)  
木材流下取締規則左ノ通之ヲ定ム

木材流下取締規則

- 第一條 本則ニ木材流下ト稱スルハ河川溪谷ニ木材ヲ個々分流スルヲ云フ
- 第二條 一 木材ヲ流下セントスルモノハ別紙甲號書式ニヨリ出願許可ヲ受クヘシ  
前項願書ニハ木材ヲ流下スル河川溪谷ノ流域略圖及第四條ノ印章ヲ添付スヘシ  
木材流下ニシテ流下區域内豫メ一定ノ場所ニ於テ槎筏ニ變更セントスルトキハ願書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ(槎造スヘキ槎後ノ隻數共)
- 第二條ノ二 一旦流下ヲ終了シタル木材ヲ再他ニ流下セントスルトキハ前許可書ノ寫ヲ添ヘ更ニ出願スヘシ流下ノ途中槎筏ニ變更セントスルトキ亦全シ
- 第三條 許可ヲ受ケタル木材ト雖モ水面ヨリ五尺以上増水ノトキハ流下スヘカラス
- 第四條 流下セントスル木材ニハ森林法第三十一條ノ印章ヲ三個所以上鮮明ニ刻印スヘシ
- 第五條 木材ヲ流下セントスルハ堤防、川除、橋梁、堰埭、水量標等ニ衝突シ又ハ舟航ノ障害トナルヲ防備スル爲メニ行政廳ノ指定スル個所ニ看守人ヲ配置スヘシ
- 前項ノ看守人ハ其住所氏名ヲ警察署又ハ警察分署若シクハ駐在巡查ニ届出ツヘシ
- 第六條 流下セントスル木材ハ其一端又ハ兩端ニ便宜孔穴ヲ鑿ツヘシ  
但鐵道用枕木下駄木其他長六尺以下ノ木材ハ前項ノ規程ヲ適用スル限リニ非ス
- 第七條 出水ヲ待チ木材ヲ流下スル爲メニ溪谷、山崖川岸又ハ其他ノ場所ニ木材ヲ積置セン  
トスル時ハ圖面ヲ添ヘ別紙乙號書式ニ依リ出願許可ヲ受クヘシ  
木材ノ積置ハ行政廳ニ於テ定ムル洪水點以上ノ處ニ於テ之レヲ爲スヘシ

木材積置ノ場所ノ民有ニ係ルモノハ所有者ノ承諾書國有土地及林野ニ係ルモノハ所轄官廳ノ許可書ヲ願書ニ添付スヘシ

第八條 流下スヘキ木材ニシテ河川乾水ノ爲メ流下スル能ハサルカ又ハ夜間看守人ヲ配當セサル場合ニ於テハ材端ノ孔穴ニ強靱ナル綱繩ノ類ヲ貫穿シ以テ堅牢ナル物体ニ緊縛シ不時ノ流下ヲ防備スヘシ

前項ノ緊留ニシテ三日以上ニ渉ルトキハ其事實ヲ詳記シ所轄警察署警察分署若シクハ駐在巡查ニ届出ツヘシ

第九條 木材流下ノ爲メ堤防、川除、橋梁、堰埭、水量標等ヲ毀損スルノ虞アルキハ豫メ其修繕ノ擔保金ヲ納入セシメ之レヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 木材流下ノ爲メ堤防、川除、橋梁、堰埭、水量標等ヲ毀損喪失セシメタル時ハ修繕又ハ設置ヲ命スヘシ其命令ヲ遵守セサルハ行政廳ニ於テ之レヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ

執行セシメ其費用ハ擔保金ノ内ヨリ支出シ尙ホ不足ナル場合ニ於テハ之レヲ追徴ス

第十一條 擔保金ヲ納入セサル者ト雖モ堤防、橋梁、川除、堰埭、水量標等ヲ毀損喪失シタル時ハ之レカ修繕又ハ設置ヲ命スヘシ其命令ヲ遵守セサル場合ニ於テハ行政廳ニ於テ之レヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ執行セシメ其費用ヲ追徴ス

第十二條 出願者ニ於テ前二條ノ費用ヲ納入セサル時ハ保證人ヨリ之ヲ追徴ス

第十三條 第二條乃至第八條ニ違反シタル者ハ卅日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

第十四條 従前發布ノ諸規則ニシテ本則ト牴觸スルモノハ都テ廢止ス

附 則

第十五條 本令發布前ニ於テ既ニ木材ヲ流下シアルモノ又ハ木材ヲ積置シタルモノハ本令發

布後五日以内ニ第二條第七號ノ手續ヲ爲スヘシ

(甲號書式)

木材流下願

一何角物(何辨甲)(何九太) 何本

此肩數何肩

一櫓木

此櫓數何挺

一枕木(下駄木)

何挺

一坑木

何本

一何板

何枚

此坪數何坪

右ハ何郡何町村大字何字何(何々山)字何(自己ノ持山ノ立木ト他人ノ持山ヲ買入レタル立木トノ區別及發主名記入ヲ要ス)ヨリ伐採シタルモノヲ何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何郡何町村大字何字何々ヨリ何郡何町村大字何字何々迄何川筋ヲ流下致度候間御許可相成度右流下ノ爲メ堤防、川除、橋梁、堰埭、水量標等ニ損害ヲ加ヘ候節ハ御命令ニ從ヒ直ニ修繕又ハ設置可致候保證人連署此段相願候也

明治 年 月 日

何縣何郡何町村大字何々番戶

願人 何

某印

何縣何郡何町村大字何々番戶

宮崎縣知事宛

保證人 何 某印

注意

一 櫓數トハ挺ノ櫓木ヨリ製材シ得ヘキ櫓木ノ數ヲ云フ  
一本願書ハ木材川付込地ノ所屬町村役場郡役所ヲ經由スルヲ要ス  
(乙號書式)

木材積置並流下願

一何々  
一何々

(甲號書式ニ準ス)

右ハ何郡何町村大字何字何々(何々山) (自己ノ持山ノ立木ト他人ノ持山ヲ買入レ) ヨリ伐採シタルモ  
ノチ何郡何町村大字何字何々ノ溪谷(山涯)(河岸)(何々)ニ積置キ出水ヲ待チ何郡何町村大  
字何字何々ヨリ何郡何町村大字何字何々迄何川筋ヲ何年何月何日マテ流下致度候間御許可  
相成度右流下ノ爲メ堤防、川除、橋梁、堰埭、水置標等ニ損害ヲ加ヘ候節ハ御命令ニ從ヒ  
直ニ修繕又ハ設置可致候保證人連署此段相願候也

明治 年 月 日

何縣何郡何町村大字何々番戶 願人 何 某印  
何縣何郡何町村大字何々番戶 保證人 何 某印

宮崎縣知事宛

注意

甲號ニ全シ

土  
木

土

水

○宮崎縣令第七十四號(三十三年八月三十日)  
明治三十三年八月縣令第七十三號木材流下取締規則第六條第一項ノ規程ハ本則發布以前ニ流下シアル木材並積置シアル木材ニハ適用セス  
前項ノ木材ニシテ明治二十七年三月宮崎縣令第二十九號河川港灣取締規則第八條第一項ニ依リ極印ヲ打付シタルモノハ木材流下取締規則第四條ノ規程ヲ適用セス

○宮崎縣令第七十七號(廿三年九月十三日)  
明治三十三年八月宮崎縣令第七十三號木材流下取締規則ニ據リ流下スル木材ニシテ全則第八條  
第一項ノ場合及平水面ヨリ五尺以上増水ノ場合ニ於テ木材不時ノ流下ヲ防備スル爲メ別段ノ  
方法ヲ設ケタルモノハ全則第六條規定ノ方法ニ據ラサルモ妨ケナシ  
前項防備ノ方法ハ其施設ノ地名等詳細ニ記載シ木材流下願書又ハ木材積置願書ニ添付シ本縣  
應ノ認可ヲ受クヘシ



明治三十三年九月十三日訓  
令第九十二號ニテ第三條四  
條五條へ追加

○訓令第八十八號(三十三年九月一日)  
木材流下取締規則取扱規程左ノ通り之ヲ定ム

郡役所 警察署 警察分署 町村役場

木材流下取締規則取扱規程  
第一條 町村役場ニ於テ木材流下願又ハ積置願書ヲ受理シタルトキハ二日以内ニ事實ヲ調査  
シ書類ヲ部長ニ送附スヘシ

第二條 郡役所ニ於テ前條願書ヲ受理シタルトキハ直ニ土木派出員ニ送付スヘシ

第三條 土木派出員ニ於テ前條願書ノ送付ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ左ノ各項ニ依リ處理  
シ書類ヲ添へ郡長ニ返付スヘシ

郡長ニ於テハ二日以内ニ意見書ヲ添へ本廳ニ進達スヘシ

土木派出員ニ於テ五日以内ニ本項ノ調査ヲ爲ス能ハサルトキ並ニ郡長ニ於テ二日以内ニ書  
類ヲ進達スル能ハサルトキハ其理由書ヲ願書ニ添付スヘシ

一 木材ヲ流下スヘキ流域ニ於テ橋梁・堤防・川除・堰埭・水量標等アルヤ否ヲ調査シ之  
アレハ木材衝突ヲ防備スル方法之ヲ防備スルニ何程ノ人員ノ配置ヲ要スヘキ哉否ヲ各個  
所ニ就キ調査スヘシ

二 縣費負擔ニ屬スル橋梁・堤防・川除・堰埭・水量標等ヲ毀損喪失セシムルノ虞アリト  
認ムルトキハ之レカ修繕・架設・設置ニ要スル擔保金ハ何程(査定標準率モ詳細記載ス  
ルヲ要ス)ヲ納入セシムヘキヤヲ調査スヘシ

三 公共團體又ハ私人ノ所有ニ係ル橋梁・堤防・川除・堰埭・水量標等アルトキハ其所有  
者又ハ管理人ニ就キ木材衝突ヲ防備スル方法及之ヲ防備スルニ何程ノ人員ヲ要スルヤノ  
件ヲ協定スヘシ

四 木材積置個所ノ洪水點ハ其樹木、雜草、岩石ノ實況ヨリ地方人民ノ言フ處ヲ調査シ標

本ヲ建設シ願書圖面ニ記入シ其個所ニ願人ヲシテ押印セシムヘシ

五 明治三十三年九縣令第七十七號ニ依リ木材流下取締規則第六條ノ規定ヲ適用セサルモ  
ノニ就テハ全則第八條第一項ニ依リ木材不時ノ流下ヲ防備スル方法并五尺以上増水ノ時  
ニ於テ流下ヲ防備シ得ル方法器具等ノ完備セルヤ并防備施設場所ノ適當セルヤ否ヲ調査  
スヘシ

第四條 木材流下願、積置願ヲ許可シタルトキハ願書ノ謄本及命令書木材流下防備方法書謄  
本等ヲ内務部ヨリ所轄警察署又ハ警察分署ニ送付スルモノトス  
警察署又ハ警察分署ニ於テ前項書類ヲ受理シタルトキハ流域關係ノ町村駐在巡查ニ送達スヘ  
シ

第五條 警察署、警察分署、駐在巡查ニ於テ取締規則第八條ノ届書ヲ受理シタルトキハ土木  
派出員ニ通知シ直ニ實地ノ調査ヲ遂ケ全上第一項ノ規程ヲ遵守スルヤ否ヲ調査スヘシ  
但明治三十三年九縣令第七十二號ニ依リ木材流下取締規則第六條ノ規程ヲ適用セサルモ

ノハ木材不時ノ流下ヲ防備シ得ルノ方法ハ完備シアルヤ否ヲ調査スヘシ  
第六條 警察官並土木派出員ハ木材流下並木材積置ノ實況ヲ調査シ犯則ノ廉アリト認メタル  
トキハ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

○宮崎縣令第十五號(三十五年二月六日)  
榎筏流下取締規則左ノ通之ヲ定ム

榎筏流下取締規則

第一條 本則ニ榎筏ト稱スルハ木竹ヲ榎筏ニ構造シ河川ニ流下スルモノヲ云フ

第二條 一 榎筏ヲ流下セントスルモノハ別紙申渡書式ニ據リ本應ニ出願許可ヲ受クヘシ  
榎筏ノ流下ヲ許可シタルトキハ榎筏流下證ヲ下附ス流下ノ期限ヲ經過シタルトキハ證書ノ  
効用ヲ失ス

前項願書ニハ第四條ノ印章ヲ添付スヘシ  
榎筏ニシテ流下區域内豫メ一定ノ場所ニ於テ木材流下ニ變更セントスルトキハ願書ニ其旨ヲ  
記載スヘシ

第二條 一旦川流ヲ終了シタル木竹材ヲ再他ニ流下セントスルトキハ前許可書ノ寫ヲ添ヘ  
更ニ出願スヘシ流下ノ途中木材流下ニ變更セントスルトキ亦全シ

第三條 許可ヲ受ケタル榎筏ト雖モ水面ヨリ六尺以上増水ノトキハ流下スヘカラス

第四條 榎筏ニ構造セントスル木材ニハ森林法第三十一條ノ印章ヲ三個所以上ニ鮮明ニ刻印  
スヘシ

第五條 榎筏ニ構造セントスル以前ニ溪谷山崖河岸又ハ其他ノ場所ニ木竹ヲ積置セントスル  
トキハ圖面ヲ添ヘ別紙乙號書式ニ依リ出願許可ヲ受クヘシ  
木竹ノ積置ハ行政廳ノ定ムル洪水點以上ノ處ニ於テ之ヲ爲スヘシ

木竹積置ノ個所ノ民有ニ係ルモノハ所有者ノ承諾書國有土地及林野ニ係ルモノハ所轄官廳  
ノ許可書ヲ願書ニ添付スヘシ

○三十五年四月十九日縣令  
二十九號ニテ舊式改正全第  
九條へ追加  
○三十八年三月十五日縣令  
第十六號ニテ舊式改正  
○三十九年十一月廿五日縣令第  
三十九號ニテ二條三條中改  
正削除  
○四十一年十月十五日縣令  
第七十七號ニテ第十一條改正

第六條 槎筏流下ノ際ニハ一隻毎ニ槎筏流下證ヲ携帯スヘシ其流下證ハ貳回以上ノ流下ニ使  
用スルヲ得  
槎筏流下ノ際ニ警察官又ハ當該官吏ニ於テ一時其流下ヲ駐メ槎筏流下證ノ閱覽ヲ爲サント  
スルトキハ之ヲ拒ムヲ得ス

第七條 河川ノ平水ヨリ増加又ハ乾水シタル場合若シクハ其他ノ理由ニ依リ槎筏ヲ流下シ能  
ハスシテ河岸ニ繫留スルルハ強韌ナル綱繩又ハ藤蔓ノ類ヲ以テ堅牢ナル物体ニ緊縛スヘシ  
其繫留ノ三日以上ニ涉ルトキハ其事實ヲ詳記シ所轄警察署分署若シクハ駐在巡查ニ届出ツ  
ヘシ

前項ノ繫留ニシテ其方法不完全ト認ムル場合ニ於テハ警察官又ハ當該官吏ニ於テ繫留方法  
ノ更改ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 槎筏流下ノ爲メ又ハ槎筏ノ構造不完全ニ基因シ流出シタル木竹ノ爲メ堤防、橋梁、  
川除、堰堤、水量標等ヲ毀損喪失シタルトキハ之レカ修繕又ハ設置ヲ命スヘシ

第九條 槎筏流下ノ終局地ニ達シタルルハ其地ノ町村役場ニ流下證ヲ納付スヘシ  
河川ノ模様ニヨリ一定ノ槎筏數ニテ流下スルヲ得ス槎筏ノ隻數ヲ増減スルモノハ 下出願  
ニ係ル木竹ノ總テ流下完了シタルル其槎筏流下終局地ノ町村役場ニ流下證ヲ返納スヘシ但  
本項ノ場合ニ於テハ樁子一人毎ニ一枚ノ流下證ヲ携帯スヘシ

前項ノ場合ニ於テ槎筏ヲ解放シ流下途中幾部分ヲ個々分流ニテ流下スルモノハ堤防、川除  
橋梁、堰堤等ニ衝突又ハ舟航妨害ノ防備ヲナス爲メ相當ノ看守人ヲ配置シ且ツ明治三十三  
年八月宮崎縣令第七十三號槎筏流下取締規則第八條ノ規程ヲ遵守スヘシ其堤防、川除、橋  
梁、堰堤、水量標等ヲ毀損喪失シタル場合ニ於テハ本則第八條ニヨリ處分ス

第十條 槎筏ノ構造數最初出願ノ數ニ超過スルルハ其理由ヲ記シ流下證下附ノ申請ヲ爲シ殘  
餘ヲ生シタルルハ直ニ返納スヘシ

槎筏流下期限内ニ流下シ能ハスト認メタルルハ流下證ヲ添ヘ延期ヲ申請スヘシ

第十一條 第二條第一項第三條第五條第一項第二項第六條第一項第七條第一項第九條ニ違犯  
シタル者第六條第二項第七條第二項ニ記載スル警察官又ハ當該官吏ノ命ニ應セサル者ハ三  
十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

(甲號書式)

槎筏流下願

一何角物(何辨甲)(何九太) 何本  
此肩數何肩 此槎數何隻ニ構造(以下全斷)

一櫓木 何挺  
此櫓數何挺

一枕木(下駄木) 何本  
一坑木 何本  
(但長壹丈一尺以上ハ九太トシ肩數記載ヲ要ス)

一何板 何枚  
此坪數何坪

一何竹 何本  
此筏數何隻

右ハ何郡何町村大字何字何々(何々山)(自己ノ持山ノ立木ト他人ノ持山ヲ買入レ)ヨリ伐採シタルモ  
(タル立木トノ區別及其發主名記入ヲ要ス)

ノナ何郡何町村大字何字何々ヨリ何郡何町村大字何字何々迄河川筋ヲ槎筏ニ構造シ(何人ノ槎子ヲ使用シ)何年何月何日ヨリ何年何月何日マテニ流下致度候間御許可相成度此段相願候也

明治 年 月 日

何縣何郡何町村大字何々番戸  
願人 何 某印  
何縣何郡何町村大字何々番戸  
保証人 何 某印

宮崎縣知事宛

注意

- 一願書ハ槎筏川付込地ノ所屬町村役場郡役所ヲ經由スルヲ要ス
  - 一槎筏付込地ヨリ流下終局地迄一定ノ隻數ニテ流下シ得ルモノハ其隻數ヲ併記スル事
  - 一河川ノ模様ニヨリ一定ノ槎筏數ニテ流下スルヲ得サル場合ニ於テハ願書中使用槎子ノ數ヲ記載スル事
  - 一角材 辨甲、丸大材ハ本數、肩數、隻數共併記シ竹筏ハ隻數ノミヲ記載スル事(舊書式ノ令ニ依リ總テ廢止ス)
  - 一櫓數トハ一挺ノ櫓木ヨリ製材シ得ヘキ櫓ノ數ヲ云フ
- (乙號書式)  
木竹積置並槎筏流下願  
一何々  
一何々

(甲號書式ニ準ス)  
右ハ何郡何町村大字何字何々(何々山)(自己ノ持山ノ立木ト他人ノ持山ヲ買入タル立木トノ區別及其賣主名記入ヲ要ス)ヨリ伐採シタルモノヲ何郡何町村大字何字何々ノ溪谷(山涯)(河岸)(何々)ニ積置キ河川筋ヲ槎筏ニ構造シ(何人ノ槎子ヲ使用シ)何年何月何日マテニ何郡何町村大字何字何々マテ流下致度候間御許可相成度此段相願候也

明治 年 月 日

何縣何郡何町村大字何々番戸  
願人 何 某印  
何縣何郡何町村大字何々番戸  
保証人 何 某印

宮崎縣知事宛

注意

(前記甲號ニ全シ)

○明治三十五年四月十九日  
訓令第四十五號ニテ第七條  
及丙號書式ヲ改ム

○訓令第十號(三十五年  
二月六日)

郡役所 警察署 警察分署 町村役場

榎筏流下取締規則取扱規程左ノ通之ヲ定ム

榎筏流下取締規則取扱規程

第一條 町村役場ニ於テ榎筏流下願又ハ木竹積置并ニ流下願書ヲ受理シタルハ二日以内ニ  
事實ヲ調査シ書類ヲ郡長ニ送附スヘシ

第二條 郡役所ニ於テ前條願書ヲ受理シタルハ流下願ハ直ニ本廳ニ進達シ積置并ニ流下願  
書ハ土木派出員ニ送附スヘシ

第三條 土木派出員ニ於テ前條願書ノ送附ヲ受ケタルハ五日以内ニ三十二年九月訓令第八  
十八號木材流下取締規則取扱規程第三條第四號ニ準シ調査又ハ手續ヲ爲シ書類ヲ添へ郡長  
ニ返附スヘシ

郡長ニ於テハ二日以内ニ意見書及前項ノ書類ヲ添へ本廳ニ進達スヘシ

第四條 榎筏流下願木竹積置并ニ流下願及流下延期願ヲ許可シタルハ願書ノ謄本及命令書  
又ハ指令書ノ謄本等ヲ内務部第二課ヨリ所轄警察署又ハ警察分署ニ送附シ全時ニ其流下證  
ノ番號ヲ通知ス

警察署又ハ警察分署ニ於テ前項書類及通知ヲ受理シタルハ流域關係ノ町村駐在巡查ニ送  
達スヘシ

本條第一項ノ場合ニ於テハ榎筏流下終局地ノ町村役場ニハ内務部第二課ヨリ左ノ事項ヲ通  
知ス町村役場ニ於テハ別紙甲號書式ノ臺帳ヲ調製シ置キ榎筏流下證ノ納付ヲ受ケタルハ  
之ニ照合シテ納入シ流下ノ終了シタルハ流下證ヲ取揃へ内務部第二課ニ送附スヘシ流下  
ノ期限ヲ經過シ納付セサルモノアルハ全課ニ通知スヘシ

- 一 樣袋流下許可年月日
- 一 全種類及數
- 一 全發出地名
- 一 全流下終局地名
- 一 全流下證番號

第五條 警察官并土木派出員ハ樣袋流下并木竹積置ノ實況ヲ調査シ犯則ノ廉アリト認メタル  
 并ハ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 樣袋流下ノ爲メ又ハ樣袋ノ構造不完全ニ基因シ流出シタル木竹ノ爲メ堤防橋梁川除  
 堰球量水標等ヲ毀損喪失シタルモノアルトキハ土木派出員ハ喪失ニ對シテハ新設計ノ設計  
 毀損ニ對シテハ修繕ノ設計書ヲ調製シ二日以内ニ内務部第二課ニ進達スヘシ

警察官ニ於テ前項毀損喪失ノ事實ヲ發見シタルモ直ニ土木派出員ニ通知スヘシ

第七條 樣袋流下取締規則第二條ノ流下證ハ別紙乙號(樣袋ノ隻數ヲ定メ流下出願シタルモ  
 ノニ用ユ)丙號(河川ノ模樣ニ依リ樣袋ノ隻數ヲ定ムル能ハサルモノニ用ユ)書式ノ通トス

甲號

何郡何町村大字何々番戶

何 某

樣袋流下許可年月日  
 全種類及數  
 全發出地名  
 全流下終局地名  
 全流下證番號

備考  
 第何號又ハ第何號ヨリ第何號ニ至ル  
 流下證ノ第何號ノ中第何號ハ何年何月何日納付第何號ノ中第何  
 號ト第何號トハ何年何月何日納付ニ付合計何枚納付濟ニ付何年  
 何月何日本縣第二課ニ送附  
 何枚ハ流下許可人ニ於テ使用セサル  
 旨何年何月何日本縣第二課ヨリ通牒シ來ル

乙號 表面 四寸五分

樣袋流下許可人  
 何郡何町村大字何々番戶  
 第何號ノ中何號 何 某  
 割印  
 樣袋流下證  
 樣袋ノ種類  
 樣袋ノ發出地名  
 樣袋流下ノ終局地名  
 樣袋流下ノ期間

裏面

明治何年何月何日  
 縣印

丙 號 四寸五分

第何號中何號

何郡何町村大字何番戶  
榎筏流下許可人 何 某

### 榎筏流下證

割印

- 一本榎筏ニ構造シタル木材(竹)ハ何郡何町村大字何字何ニ於テ伐採シタル何木何本ノ内トス
- 一本榎筏流下證ヲ携帶スルモノハ榎筏流下人何某ノ楫子トス
- 一榎筏流下終局地ハ何郡何町村大字何字何トス
- 一榎筏流下ノ期限ハ明治何年何月何日迄トス

表面  
字川

裏面

明治 年 月 日 宮 崎 縣 縣 印

土 水

○宮崎縣令第三十八號(明治三十五年八月一日)  
農商務省起工ニ係ル本縣下見湯郡木城村大字石河内地内字自谷ノ口小丸川筋舟路中字猪受瀬及字三ッ石瀬ノ兩開鑿舟路ニ於テハ舟ヲ除ク外筏其他一切竹木ヲ流下スルコトヲ禁止ス犯スモノハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

○訓令第八十八號(三十五年十月十二日)

郡役所 町村役場

町村土木工費別冊様式ニ依リ調査シ町村長ハ町村以下ノ分ヲ翌年度一月三十一日限り郡役所ニ差出シ郡長ハ郡費ノ分ト共ニ郡表ヲ製シ之ニ添付シ二月二十八日限り差出スヘシ但明治二十九年十月宮崎縣訓令第一一三號ハ廢止ス且明治三十四年度分ニ限り町村長ハ三十六年二月二十八日限り郡長ハ全三月三十一日限リトス(別冊ハ別ニ之ヲ願フ)別冊ハ略ス



○訓令第八十九號(三十五年十月十二日)

郡役所 町村役場

河川流域水害表別冊様式ニヨリ調査シ町村長ハ其町村内ノ分ヲ事實ノ止ミタル翌月中ニ郡役所ニ差出シ郡長ハ郡表ヲ翌々月限り差出可シ

但明治二十四年三月訓令第九一號中水害表ニ關スル分ハ廢止ス且明治三十五年分ニ限り町村長ハ明治三十六年一月卅一日限り郡役所ニ差出シ郡長ハ全年二月二十八日限り差出可シ  
(別冊ハ別ニ之ヲ願フ)

(別冊ハ略ス)

○三十七年三月三十日宮崎  
縣令第二十五號ニテ第十條  
へ追加

○宮崎縣令第七號(三十六年二月十四日)

宮崎縣工事執行規程縣參事會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム

宮崎縣工事執行規程

第一條 縣費支辨ニ屬スル工事ノ執行ハ本規程ニ依ル

第二條 工事ハ實施ニ臨ミ設計ノ再査ヲ爲シ竣功期日ヲ定メ之ヲ執行スルモノトス

第三條 工事ノ執行ハ請負ニ依ルモノトス但左ノ場合ニ於テハ直營ヲ以テ執行スルコトアル

ヘシ

一 臨時急施ヲ要シ請負ニ附スルノ邊ナシト認メタルトキ

二 第五條及第六條ノ手續ヲ爲スモ請負人ナキトキ

三 一廉ノ豫定工費金拾圓未滿ナルトキ

四 道路橋樑等ノ小破損ニシテ常備工夫ヲ使役シテ修繕スルトキ

五 前各項ノ外工事重要ナルカ又ハ特別ノ事情アル場合ニ於テ請負ニ附スルヲ便益ナラスト

認メタルトキ

第四條 直營工事ニ要スル材料ノ購入ハ別ニ定ムル所ニ依ル

職工、人夫ノ使役ニ就テハ材料ヲ交付シテ作業セシムルモノト又單ニ作業セシムルモノト

ヲ問ハス直接之ヲ備入ル、モノトス

第五條 工事請負ハ競争入札ニ附スルモノトス但左ノ場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトアル

ヘシ

一 臨時急施ヲ要シ競争入札ニ附スルノ邊ナシト認メタルトキ

二 増工事ニシテ本工事請負人ニ請負ハシムルヲ便益ナリト認メタルトキ

三一兼ノ議定工費金百圓未滿ナルトキ  
 四入札人ナキカ又ハ一人ナルトキ若ハ再入札ニ附スルモ落札人ニ附スルモ落札人ナキトキ  
 但既定ノ條件、豫定工費金等ヲ變更スルコトヲ得ス  
 五前各項ノ外特別ノ事情アル場合ニ於テ競争ニ附スルヲ便益ナラスト認メタルトキ  
 第六條 工事ヲ一般ノ競争ニ附スルヲ不利ナリト認メタルトキハ特ニ指名競争ニ附スルコト  
 アルヘシ  
 第七條 入札ハ豫定工費金以內ノ最低金額ヲ以テ落札トス但最低制限金額ヲ定メタル場合ニ  
 ハ其金額以上タルコトヲ要ス  
 第八條 請負工事ハ工事監督員ヲシテ監督セシムルハ勿論適宜當該官吏ヲシテ材料ノ検査及  
 竣功検査ヲ行ハシムルモノトス  
 第九條 工事ノ全部又ハ幾部ヲ他人ニ賣渡、贈與、交換、委託ヲ爲シ又ハ下請ヲ爲サシムル  
 コトヲ得ス但知事ニ於テ特別ノ事情アリト認ムル場合ニ於テハ工事ノ幾部ニ限り下請ヲ承  
 認スルコトアルヘシ  
 第十條 入札並契約ノ際ハ保證金ヲ納付セシムルモノトス但請負金高百圓未滿ナルトキハ之  
 ヲ免除スルコトアルヘシ  
 前項ノ保證金ニ對スル債權ハ之ヲ讓渡シ又ハ質權ノ目的トナスコトヲ得ス  
 第十一條 請負人ニ原料品ヲ下渡シテ工事ヲ執行セシムルトキハ契約保證金ノ外原料品ニ對  
 シ相當ノ保證金ヲ納付セシムルコトアルヘシ  
 第十二條 入札人ニ於テ立會ヲ要スヘキ開札場ニ立會ハサルカ若クハ落札人ニ於テ請負契約  
 ヲ締結セザルトキハ其入札保證金ハ縣ノ所得トス

第十三條 落札人ニ連合申合セ其他不正ノ行爲アリタリト認メタルトキハ其落札ヲ取消シ且  
 入札保證金ハ縣ノ所得トス  
 第十四條 縣ノ事故ニ由ルニアラスシテ契約ノ解除ヲナシタル場合ニ於テハ既成工事又ハ檢  
 査済材料ハ縣ノ所得トス  
 前項ノ場合ニ於ケル契約保證金ハ違約金トシテ縣ノ所得トス  
 第十五條 工事請負契約ノ際ハ身元確實ナル保證人ヲ立テシムルモノトス  
 第十六條 工事ハ總テ検査済ノ上之ヲ受取ルモノトス  
 第十七條 本規程ニ基キ爲シタル處分ニ對シ入札人又ハ請負人及保證人ハ異議ヲ唱ヘ又ハ損  
 害賠償ヲ求ムルコトヲ得ス  
 附 則  
 第十八條 本規則ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス  
 第十九條 従前ノ規程ニ依リ締結シタル契約ハ本規程施行ノ爲メ變更セラル、コトナシ

○廿九年六月廿六日訓令第  
廿七號ニテ宛所及第二十三  
條追加改正

○訓令第三十八號(三十六年  
五月八日)

郡 役 所 縣立學校 警 察 署  
警 察 分 署 農事講習所 農事試驗場  
地方測候所 水産試驗場 圖 書 館

土木工事取扱心得左ノ通改正ス

土木工事取扱心得

第一條 土木工事設計書ハ別ニ定ムル道路修築標準ニ建築工事設計書ハ第十一號書式ニ倣ヒ  
調製スルモノトス但特種ノ工事ニシテ該標準ニ據リカダキ場合ハ此限リニアラス

第二條 道路更正工事其他重要ナル工事ノ設計書ニハ左ノ書類ヲ添付シ設計主任者ノ意見ヲ  
具申スヘシ但其様式ハ前條道路修築標準ニ倣ヒ調製スルモノトス

一、工費總計表

二、一位代價表

三、橋梁一覽表

四、暗渠一覽表

五、道敷潰地調表

六、平面圖、高低圖、坪數計算ノ諸表及断面圖、構造圖

第三條 民有ノ家屋ヲ移轉スル場合ハ第一號書式民有地買收ノ必要アルモノハ第二號書式ノ  
書面ヲ徵シ設計書ニ添付スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ工事着手前第三號及第七號書式ノ書面ヲ本人ヨリ徵シ支出ノ決定(土  
地ニ付テハ四號五號六號書面差出後)ヲ受ケタル後代金ヲ支拂フモノトス

第四條 毎年度開始ノ際豫算決定工事ノ重要ナルモノハ着手順序施行方法等ヲ内務部第二課